

令和 8 年 8 月 2 0 日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

議案

資料①

番号	件 名	主 管 課	
1	山口県いじめ問題調査委員会委員の任命について	学 校 安 全 ・ 体 育 課	P. 2

報告事項

番号	件 名	主 管 課	
1	令和9年度(令和8年度実施)山口県公立学校教員採用候補者選考試験（第二次試験）の選考結果について	教 職 員 課	P. 6
2	令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について	義 務 教 育 課	P. 9

協議事項

番号	件 名	主 管 課	
3	高等学校教育改革実行計画（骨子案）について	県 立 高 校 再 編 整 備 推 進 室	P. 51

議案第 1 号

山口県いじめ問題調査委員会委員の任命について

山口県いじめ問題対策協議会等の設置に関する条例（平成 26 年山口県条例第 27 号）第 2 条第 3 項の規定に基づき、山口県いじめ問題調査委員会の委員を別紙のとおり任命する。

令和 8 年（2026 年）8 月 20 日

山 口 県 教 育 委 員 会

山口県いじめ問題調査委員会委員(案)

【委員】

	氏名	所 属 ・ 役 職 名 等	区 分	推 薦 団 体 等 ・ 略 歴 等	備 考
1	春 日 由 美	山口大学教育学部・教授	学識経験者	山口大学教育学部推薦	再任
2	中 嶋 善 英	中嶋法律事務所	弁護士	山口県弁護士会推薦 山口県弁護士会子どもの権利委員会委員長 山口県FRアドバイザー	再任
3	茶 川 治 樹	山口県医師会・常任理事	医 師	山口県医師会推薦	再任
4	結 城 博 実	カウンセリングルーム『ココロメンテ』・公認心理師	臨床心理士	山口県公認心理師協会推薦 小郡まきはら病院(精神科)勤務 県内公立小・中学校スクールカウンセラー(R2)	新任
	肥 塚 朋 美	メンタルクリニックMatoba・臨床心理士、公認心理師	臨床心理士	山口県公認心理師協会推薦 山口県立大学学生相談室 非常勤カウンセラー 山口市立小中学校スクールカウンセラー	前任
5	杉 山 美 羽	山口県社会福祉士会・理事	社会福祉士	山口県社会福祉士会推薦 認定NPO法人山口せわやきネットワーク職員 NPO法人フードバンク山口理事・事務局長 山口県登録養育里親 山口県子育て県民運動地域推進協議会会長	再任
6	原 田 茂 樹	山口県人権擁護委員連合会・子ども人権委員会委員長	人権擁護委員	山口県人権擁護委員連合会推薦 山口県保護区保護司 山口県いじめ問題対策協議会「ネットワーク会議」委員	再任

※ 委員数6名、任期2年 [令和8年9月1日～令和10年8月31日]

山口県いじめ問題対策協議会等の設置に関する条例（原文縦書き）

（山口県いじめ問題対策協議会）

第一条 いじめ防止対策推進法（平成二十五年法律第七十一号。以下「法」という。）第十四条第一項の規定に基づき、山口県いじめ問題対策協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会は、山口県教育委員会及び学校、市町の教育委員会、児童相談所、地方法務局、県警察その他の山口県教育委員会（以下単に「教育委員会」という。）が指定するいじめの防止等（法第一条に規定するいじめの防止等をいう。以下同じ。）に関係する機関及び団体をもって構成する。
- 3 前二項に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会が定める。

（山口県いじめ問題調査委員会）

第二条 いじめの防止等のための対策に関する重要事項についての調査及び審議並びに県立学校において発生した法第二十八条第一項に規定する重大事態に係る事実関係を明確にするための調査に関する事務を行わせるため、教育委員会の附属機関として、山口県いじめ問題調査委員会（以下「調査委員会」という。）を置く。

- 2 調査委員会は、委員九人以内で組織する。
- 3 前項の委員は、学識経験を有する者のうちから、教育委員会が任命する。
- 4 前三項に定めるもののほか、調査委員会の組織及び運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（山口県いじめ調査検証委員会）

第三条 法第二十八条第一項の規定による調査の結果（法第三十条第一項又は法第三十一条第一項の規定により知事に報告された重大事態に係るものに限る。）いじめ調査検証委員会（以下「検証委員会」という。）を置く。

- 2 検証委員会は、委員五人以内で組織する。
- 3 前項の委員は、学識経験を有する者のうちから、知事が任命する。
- 4 前三項に定めるもののほか、検証委員会の組織及び運営について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して三月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

平成二十六年山口県教育委員会規則第八号（原文縦書き）

山口県いじめ問題調査委員会規則

（趣旨）

第一条 この規則は、山口県いじめ問題対策協議会等の設置に関する条例（平成二十六年山口県条例第二十七号）第二条第四項の規定に基づき、山口県いじめ問題調査委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

（任期）

第二条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

3 前二項の規定にかかわらず、特別の事項を調査審議するため臨時に任命された委員は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

（委員長及び副委員長）

第三条 委員会に、委員長及び副委員長各一人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第四条 委員会の会議（以下この条において「会議」という。）は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会）

第五条 委員会は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、委員長が指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によってこれを定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、部会に属する委員のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。

6 前条の規定は、部会の会議に準用する。

7 委員会は、その定めるところにより、部会の決議をもって委員会の決議とすることができる。

（秘密保持義務）

第六条 委員は、職務上知ることができた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

（庶務）

第七条 委員会の庶務は、教育庁学校安全・体育課において処理する。

（その他）

第八条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

令和9年度(令和8年度実施)山口県公立学校教員採用候補者選考試験 (第二次試験)の選考結果について

1 選考区分・志願区分別の受験状況及び採用候補者名簿登載予定者数

(1) 選考区分・志願区分別の受験状況及び採用候補者名簿登載予定者数

ア 令和9年度採用

※()は昨年度の数、()内は第二志願者を含む数

選考区分・志願区分		志願者数	内第一次試験免除者数 ① ※1	第 一 次 試 験			第 二 次 試 験 ※3			最終倍率 (①+②)/⑤
				受験者数 ②	合格者数 ③ ※2	倍率 ②/③	受験者数 ④	登載 予定者数 ⑤ ※4	倍率 ④/⑤	
一般選考 特別選考	小 学 校	279 (272) (302) (282)	134 (73) (138)	130 (184) (143) (192)	97 (170) (108) (178)	1.3 (1.1) (1.3) (1.1)	215 (221) (228) (229)	137 (160)	1.6 (1.4) (1.7) (1.4)	1.9 (1.6) (2.1) (1.7)
	中 学 校	254 (255)	46 (32)	183 (206)	158 (174)	1.2 (1.2)	195 (194)	132 (131)	1.5 (1.5)	1.7 (1.8)
	高 等 学 校	243 (254)	41 (32)	180 (193)	104 (119)	1.7 (1.6)	138 (146)	71 (76)	1.9 (1.9)	3.1 (3.0)
	計	776 (781) (799) (791)	221 (137) (225)	493 (583) (506) (591)	359 (463) (370) (471)	1.4 (1.3) (1.4) (1.3)	548 (561) (561) (569)	340 (367)	1.6 (1.5) (1.7) (1.6)	2.1 (2.0) (2.2) (2.0)
	特別支援学校 小 学 部	25 (12) (47) (17)	7 (2) (24)	16 (9) (21) (14)	16 (8) (20) (13)	1.0 (1.1) (1.1) (1.1)	20 (9) (40) (13)	15 (8)	1.3 (1.1) (2.7) (1.6)	1.5 (1.4) (3.0) (2.0)
	特別支援学校 中 学 部	14 (12) (19) (17)	2 (2) (2)	10 (10) (15) (15)	10 (10) (15) (14)	1.0 (1.0) (1.0) (1.1)	12 (11) (16) (14)	8 (8)	1.5 (1.4) (2.0) (1.8)	1.5 (1.5) (2.1) (2.1)
	特別支援学校 高 等 部	38 (26) (43) (32)	13 (3) (14)	23 (23) (27) (29)	15 (21) (17) (24)	1.5 (1.1) (1.6) (1.2)	27 (24) (30) (27)	10 (12)	2.7 (2.0) (3.0) (2.3)	3.6 (2.2) (4.1) (2.7)
	計	77 (50) (109) (66)	22 (7) (40)	49 (42) (63) (58)	41 (39) (52) (51)	1.2 (1.1) (1.2) (1.1)	59 (44) (86) (54)	33 (28)	1.8 (1.6) (2.6) (1.9)	2.2 (1.8) (3.1) (2.3)
	養 護 教 諭	105 (118)	8 (8)	92 (106)	10 (15)	9.2 (7.1)	18 (22)	5 (6)	3.6 (3.7)	20.0 (19.0)
	栄 養 教 諭	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合 計		958 (949) (1,013) (975)	251 (152) (273)	634 (731) (661) (755)	410 (517) (432) (537)	1.5 (1.4) (1.5) (1.4)	625 (627) (665) (645)	378 (401)	1.7 (1.6) (1.8) (1.6)	2.3 (2.2) (2.5) (2.3)
障害者を対象 とした選考		4 (4)	2 (0)	2 (4)	2 (3)	1.0 (1.3)	4 (3)	2 (0)	2.0 (-)	2.0 (-)
障害者を対象 とした選考を 含めた合計		962 (953) (1,017) (979)	253 (152) (275)	636 (735) (663) (759)	412 (520) (434) (540)	1.5 (1.4) (1.5) (1.4)	629 (630) (669) (648)	380 (401)	1.7 (1.6) (1.8) (1.6)	2.3 (2.2) (2.5) (2.3)

イ 令和10～12年度採用

教職チャレンジ サポート特別選考	16 (12)	0 (0)	13 (9)	4 (6)	3.3 (1.5)	3 (5)	1 (4)	3.0 (1.3)	13.0 (2.3)
---------------------	------------	----------	-----------	----------	--------------	----------	----------	--------------	---------------

※1 以下については、第一次試験を免除している。

- ・前年度採用選考試験第二次試験の総合評価ランクがA又はBの者
- ・前年度大学3年生受験合格の者
- ・国公立学校の本採用教員で、平成28年4月1日以降に3年以上の勤務経験を有する者
- ・大学等推薦(Ⅱ)特別選考
- ・自己推薦特別選考

※2 第一次試験合格者数(③)の上段の数には、第二志願のみに合格した者を含む。

※3 第二次試験は、第一次試験免除者(①)及び第一次試験合格者(③)を対象に実施した。

※4 登載予定者数(⑤)には、第二志願で合格した者を含む。

(2) 大学等推薦特別選考の状況((1)の内数)

志 願 区 分	志願者数	内第一次試験 免除者数	第 一 次 試 験		第 二 次 試 験	
			受験者数	合格者数	受験者数	登載予定者数
小 学 校	4 (15)	3 (3)	1 (12)	1 (12)	4 (15)	3 (13)
中 学 校	8 (7)	2 (2)	6 (5)	6 (5)	8 (6)	6 (3)
高 等 学 校	8 (10)	2 (2)	5 (8)	4 (5)	6 (7)	4 (5)
特別支援学校	2 (1)	0 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (1)
計	22 (33)	7 (8)	14 (25)	13 (22)	20 (29)	14 (22)

(3) 自己推薦特別選考の状況((1)の内数)

志 願 区 分	志願者数	内第一次試験 免除者数	第 一 次 試 験		第 二 次 試 験	
			受験者数	合格者数	受験者数	登載予定者数
小 学 校	8 (-)	8 (-)	0 (-)	0 (-)	8 (-)	0 (-)
中 学 校	8 (-)	8 (-)	0 (-)	0 (-)	8 (-)	3 (-)
高 等 学 校	11 (-)	11 (-)	0 (-)	0 (-)	10 (-)	4 (-)
特別支援学校	2 (-)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (-)	0 (-)
養 護 教 諭	2 (-)	2 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (-)	2 (-)
栄 養 教 諭	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	31 (-)	31 (-)	0 (-)	0 (-)	30 (-)	9 (-)

(4) 教職大学院修了見込者特別選考の状況((1)の内数)

志 願 区 分	志願者数	内第一次試験 免除者数	第 一 次 試 験		第 二 次 試 験	
			受験者数	合格者数	受験者数	登載予定者数
小 学 校	1 (1)	- (-)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)
中 学 校	2 (0)	- (-)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
高 等 学 校	0 (1)	- (-)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
特別支援学校	0 (0)	- (-)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
養 護 教 諭	1 (0)	- (-)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
栄 養 教 諭	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計	4 (2)	- (-)	4 (2)	4 (1)	4 (1)	2 (0)

(5) エキスパート人材特別選考の状況((1)の内数)

志 願 区 分	志願者数	内第一次試験 免除者数	第 一 次 試 験		第 二 次 試 験	
			受験者数	合格者数	受験者数	登載予定者数
小 学 校	3 (4)	0 (0)	3 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (1)
中 学 校	5 (4)	0 (0)	2 (4)	2 (3)	2 (3)	1 (1)
高 等 学 校	15 (17)	1 (0)	13 (15)	7 (11)	8 (11)	5 (4)
計	23 (25)	1 (0)	18 (21)	10 (16)	11 (16)	7 (6)

(6) 教職チャレンジサポート特別選考の状況((1)の内数)

志 願 区 分	志願者数	内第一次試験 免除者数	第 一 次 試 験		第 二 次 試 験	
			受験者数	合格者数	受験者数	登載予定者数
小 学 校	9 (4)	0 (0)	8 (4)	3 (3)	2 (2)	1 (2)
中 学 校	5 (2)	0 (0)	3 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)
高 等 学 校	2 (6)	0 (0)	2 (4)	0 (3)	0 (3)	0 (2)
計	16 (12)	0 (0)	13 (9)	4 (6)	3 (5)	1 (4)

2 中学校、高等学校、特別支援学校中学部及び高等部の採用候補者名簿登載予定者数の教科別内訳

()は昨年度 * は募集なし

校 種	教科・科目等	第一次試験受験者数(第一次試験免除者含む。)						名簿登載予定者数						最終倍率 A/B
		A	大学等推薦 特別選考 (内訳)	自己推薦 特別選考 (内訳)	教職大学院 修了見込者 特別選考 (内訳)	エキスパー ト人材 特別選考 (内訳)	B	大学等推薦 特別選考 (内訳)	自己推薦 特別選考 (内訳)	教職大学院 修了見込者 特別選考 (内訳)	エキスパー ト人材 特別選考 (内訳)			
中 学 校	国 語	25 (25)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	18 (16)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.4 (1.6)		
	社 会	42 (40)	1 (1)	1 (＊)	1 (0)	0 (1)	19 (23)	1 (1)	0 (＊)	1 (0)	0 (1)	2.2 (1.7)		
	数 学	33 (33)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (1)	19 (18)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.7 (1.8)		
	理 科	30 (30)	1 (2)	1 (＊)	0 (0)	0 (1)	18 (18)	1 (1)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.7 (1.7)		
	音 楽	7 (11)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	5 (8)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.4 (1.4)		
	美 術	10 (7)	0 (0)	1 (＊)	0 (0)	1 (0)	7 (4)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	1.4 (1.8)		
	保 健 体 育	46 (50)	3 (2)	3 (＊)	1 (0)	0 (1)	21 (17)	2 (0)	2 (＊)	0 (0)	0 (0)	2.2 (2.9)		
	技 術	3 (5)	0 (0)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.5 (2.5)		
	家 庭	6 (6)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.5 (1.5)		
外国語(英語)	27 (31)	1 (2)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	19 (21)	1 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.4 (1.5)			
合 計	229 (238)	8 (7)	8 (＊)	2 (0)	2 (4)	132 (131)	6 (3)	3 (＊)	1 (0)	1 (1)	1.7 (1.8)			
高 等 学 校	国 語	13 (10)	0 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	8 (7)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.6 (1.4)		
	地理歴史	世界史	5 (7)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	5.0 (3.5)	
		日本史	25 (22)	0 (2)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	4 (5)	0 (1)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	6.3 (4.4)	
		地 理	6 (6)	0 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	6.0 (6.0)	
	公 民	倫 理	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
		政治・経済	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
	数 学	44 (47)	1 (1)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	11 (12)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	4.0 (3.9)		
	理 科	物 理	6 (6)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	6.0 (6.0)	
		化 学	3 (8)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	3.0 (4.0)	
		生 物	11 (17)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	2 (0)	2 (6)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	5.5 (2.8)	
		地 学	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
	保 健 体 育	49 (47)	3 (2)	6 (＊)	0 (1)	4 (4)	9 (9)	1 (1)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	5.4 (5.2)		
	芸 術	音 楽	4 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	2.0 (1.0)	
		美 術	＊ (2)	＊ (0)	＊ (＊)	＊ (0)	＊ (0)	＊ (2)	＊ (0)	＊ (＊)	＊ (0)	＊ (0)	＊ (1.0)	
		書 道	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
	外国語(英語)	19 (17)	1 (1)	3 (＊)	0 (0)	0 (2)	14 (8)	1 (1)	2 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.4 (2.1)		
	家 庭	5 (3)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	2.5 (1.0)		
	情 報	11 (6)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	5.5 (3.0)		
	農 業	農業畜産系	2 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	2.0 (2.0)	
		農産化学・食品系	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
		土木造園林業系	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	－ (－)	
	工 業	機 械 系	2 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (2)	1 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (2)	2.0 (1.0)	
		電 気 系	1 (4)	0 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (1)	1 (3)	0 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.0 (1.3)	
		土木建築系	4 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	4.0 (1.0)	
		化学工業系	1 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (1)	1.0 (1.5)	
	商 業	8 (8)	1 (1)	1 (＊)	0 (0)	0 (0)	6 (2)	1 (1)	0 (＊)	0 (0)	0 (0)	1.3 (4.0)		
	水 産	航海系	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
		機関系	1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (0)	1.0 (－)	
		食品・栽培系	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	
		看 護	1 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)	1 (1)	1.0 (3.0)	
	福 祉	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)		
	合 計	221 (225)	7 (10)	11 (＊)	0 (1)	14 (15)	71 (76)	4 (5)	4 (＊)	0 (0)	5 (4)	3.1 (3.0)		
	特 別 支 援 学 校	中 学 部	国 語	1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		
社 会			2 (4)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		2 (4)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
数 学			1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
理 科			1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
音 楽			0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
美 術			1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
保 健 体 育			4 (5)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		2 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
技 術			0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
家 庭			0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
外国語(英語)		2 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)				
合 計		12 (12)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		8 (8)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1.5 (1.5)		
高 等 部		国 語	1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		地 理 歴 史	1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		1 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		公 民	2 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		数 学	0 (1)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		2 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		理 科	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		保 健 体 育	12 (6)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		3 (2)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		芸 術	音 楽	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		
			美 術	1 (1)	0 (0)	1 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		
		外国語(英語)	1 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		家 庭	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		情 報	1 (1)	0 (0)	1 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		農 業	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		工 業	0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
		商 業	1 (＊)	0 (＊)	＊ (＊)	0 (＊)		0 (＊)	0 (＊)	＊ (＊)	0 (＊)			
		福 祉	16 (11)	1 (0)	0 (＊)	0 (0)		3 (3)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)			
	理 療	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)		＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)	＊ (＊)				
	合 計	36 (26)	1 (0)	2 (＊)	0 (0)		10 (12)	0 (0)	0 (＊)	0 (0)		3.6 (2.2)		

全国学調

令和 8 年度

全国学力・学習状況調査

～結果報告資料～



令和 8 年 8 月

山口県教育庁義務教育課

目 次

1	調査の概要	P	1 1
2	教科に関する結果	P	1 2
	(1) 全体の結果		
	(2) 各教科の結果		
	①本県と全国の平均正答数、平均正答率の比較	P	1 2
	②正答数分布	P	1 4
	③問題別調査結果	P	1 7
	(3) 具体的な問題と解答状況		
	①小学校第6学年国語	P	2 2
	②小学校第6学年算数	P	2 4
	③中学校第3学年国語	P	2 6
	④中学校第3学年数学	P	2 8
	⑤中学校第3学年英語	P	3 0
3	質問調査の結果	P	3 2
	(1) 児童生徒質問調査の結果		
	①質問項目一覧	P	3 2
	②各質問の結果	P	3 3
	(2) 学校質問調査の結果		
	①質問項目一覧	P	4 1
	②各質問の結果	P	4 2
4	学力向上に向けた今後の取組	P	5 0

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査実施日 令和8年4月23日(木)

※英語「読むこと」「書くこと」「聞くこと」

：令和8年4月20日(月)～23日(木)のうち1日

※英語「話すこと」：令和8年4月24日(金)～5月29日(金)のうち1日

(3) 調査対象

校種	学校数	学 年	実施人数	内 容 (時 間)
小学校	公立小学校 254校 特別支援学校 1校 計 255校	第6学年	9,265人	国語、算数(各40分)及び質問
中学校	公立中学校 138校 中等教育学校 1校 特別支援学校 4校 計 143校	第3学年	9,211人	国語、数学、英語(各45分)及び質問

(4) 調査内容

①教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

※ 中学校英語は、MEXCBTによるオンライン方式で実施

○調査問題では、次の①、②を一体的に問う。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

②質問調査

ア 児童生徒質問調査【小学校…73項目 中学校…80項目】

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

イ 学校質問調査【小学校…85項目 中学校…93項目】

○指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

2 教科に関する結果

(1) 全体の結果

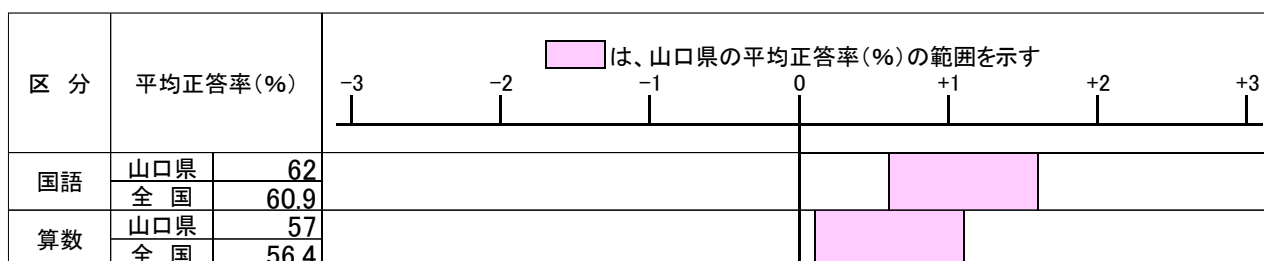
- 小学校では、国語及び算数はいずれも、全国平均を上回った。
○中学校では、国語、数学及び英語はいずれも、全国平均と同程度であった。

(2) 各教科の結果

①本県と全国の平均正答数、平均正答率の比較

【小学校】

	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	8.1／13	7.9／13	62	60.9
算 数	9.1／16	9.0／16	57	56.4

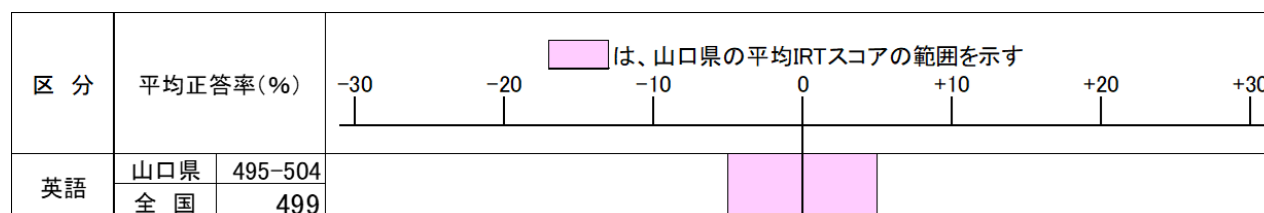
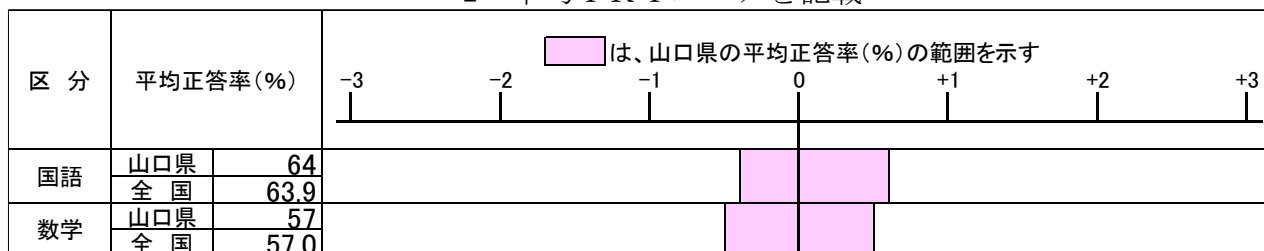


【中学校】

	平均正答数／設問数		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.6／15	9.6／15	64	63.9
数 学	9.1／16	9.1／16	57	57.0
英語(3技能)	3.6／7 *1	3.7／7 *1	495～504 *2	499 *2

*1 生徒全員が対象となった公開問題7間について記載

*2 平均IRTスコアを記載



※ 平成29年度から、都道府県等における各教科の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

※ 数値はいずれも、公立学校についての集計値

(参考) 過去の調査での平均正答率

【小学校第6学年】

	国語		算数		理科	
	県	全国	県	全国	県	全国
R 4	65	65.6	63	63.2	64	63.3
R 5	67	67.2	61	62.5		
R 6	68	67.7	64	63.4		
R 7	68	66.8	58	58.0	58	57.1
R 8	62	60.9	57	56.4		

【中学校第3学年】

	国語		数学		理科		英語	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国
R 4	65	69.0	52	51.4	49	49.3		
R 5	70	69.8	52	51.0			44	45.6
R 6	58	58.1	52	52.5				
R 7	55	54.3	48	48.3	495～ 504	503		
R 8	64	63.9	57	57.0			495～ 504	499

※ R 7 中学校理科及びR 8 中学校英語は、平均 I R T スコアを記載している。

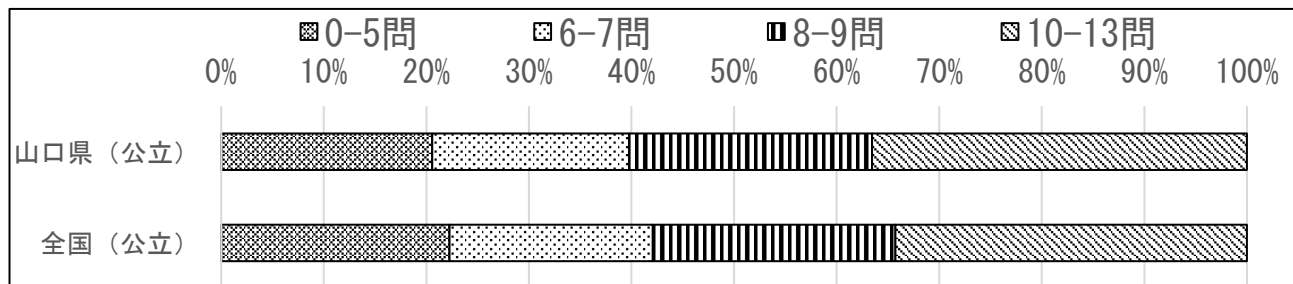
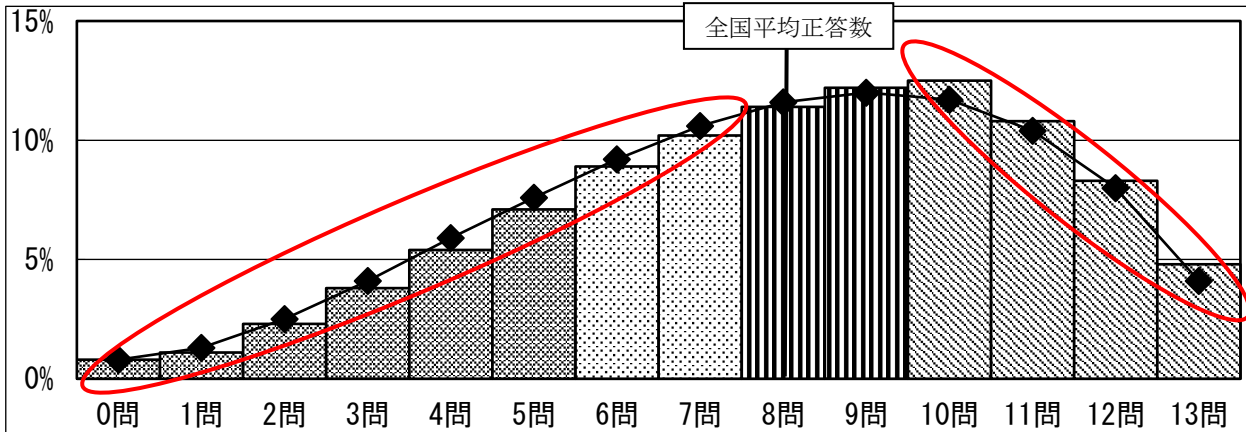
②正答数分布

凡例  山口県
 全国

 文章での記述に関連する部分

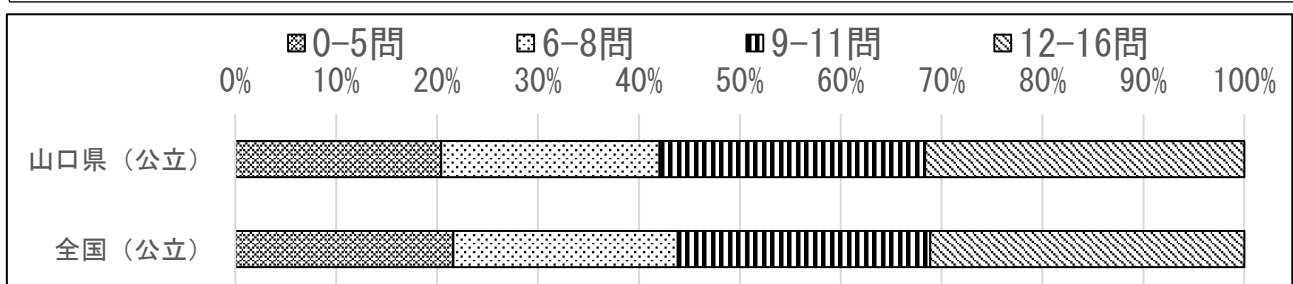
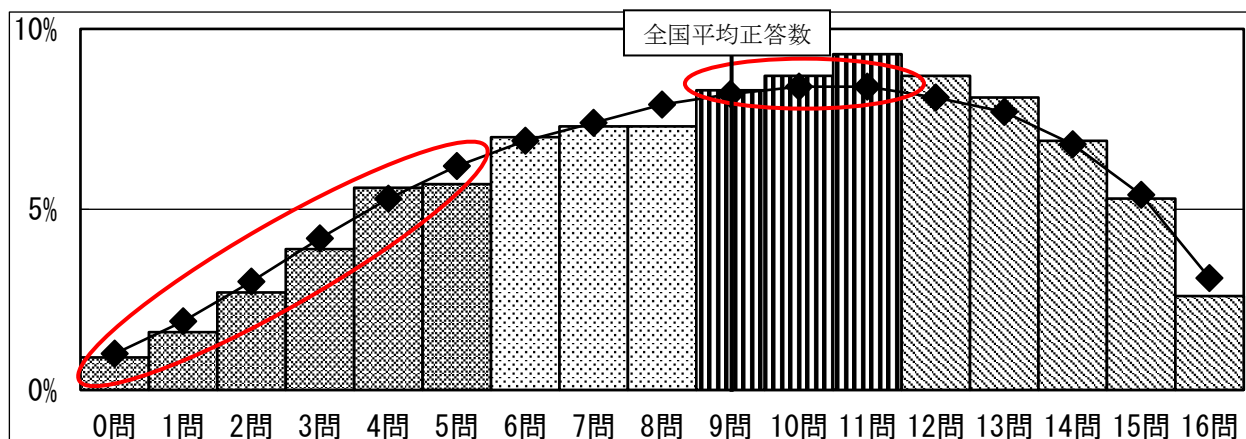
【小学校 国語】（平均正答率 山口県 62%、全国 60.9%）

- ・全国と比べ、正答数が0～7問の児童の割合が低い。
- ・全国と比べ、正答数が10～13問の児童の割合が高い。



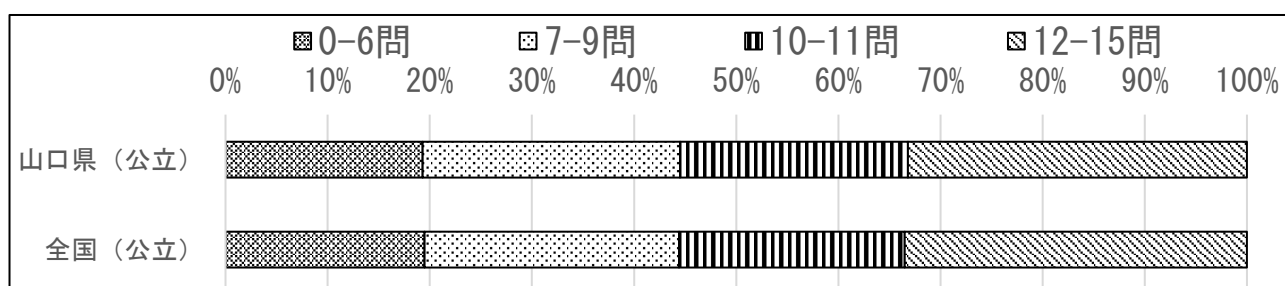
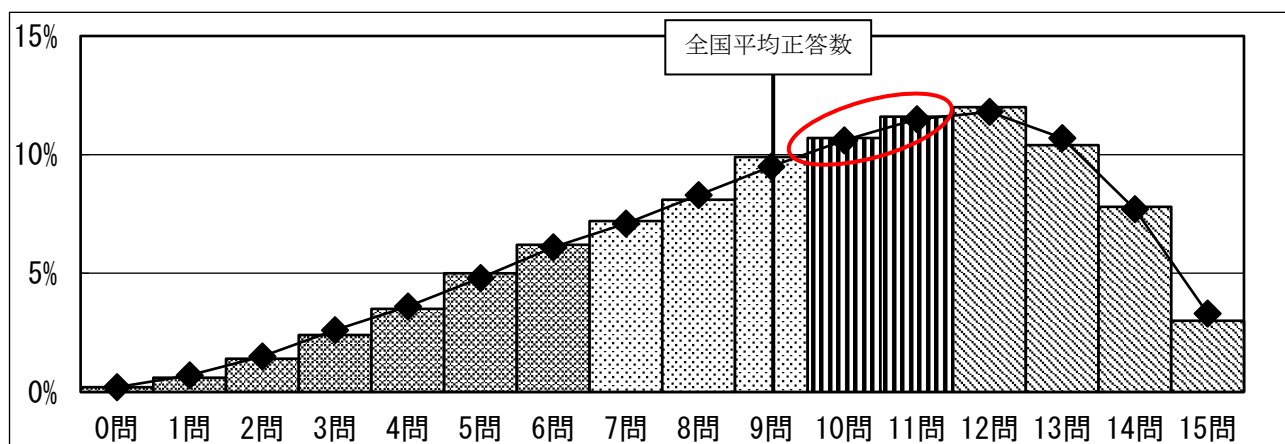
【小学校 算数】（平均正答率 山口県 57%、全国 56.4%）

- ・全国と比べ、正答数が0～5問の児童の割合が低い。
- ・全国と比べ、正答数が9～11問の児童の割合が高い。



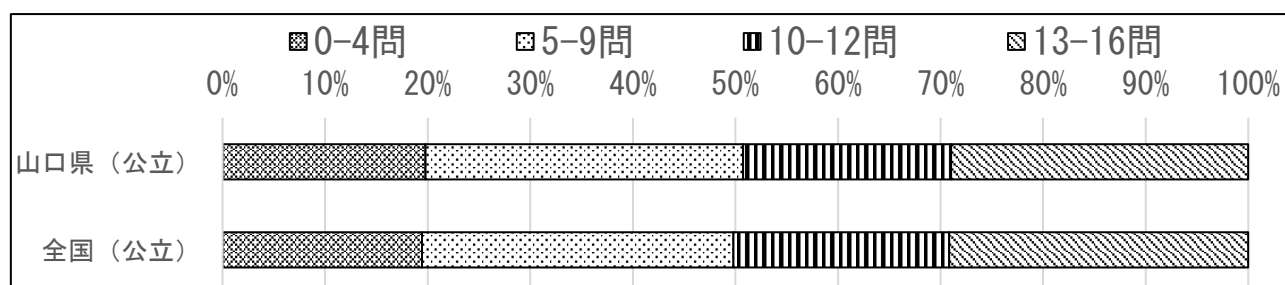
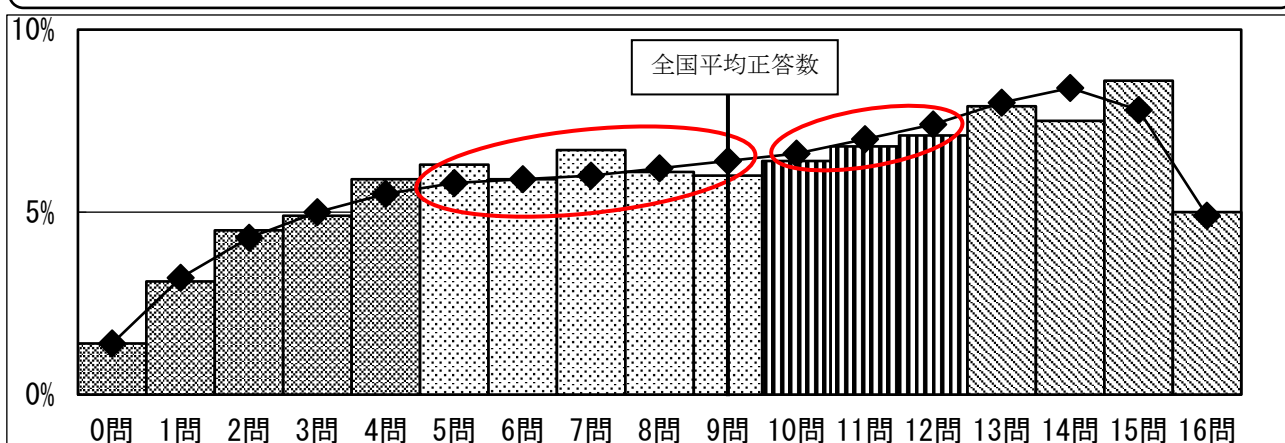
【中学校 国語】（平均正答率 山口県 64%、全国 63.9%）

- ・全国と比べ、正答数が10～11問の生徒の割合が高い。



【中学校 数学】（平均正答率 山口県 57%、全国 57.0%）

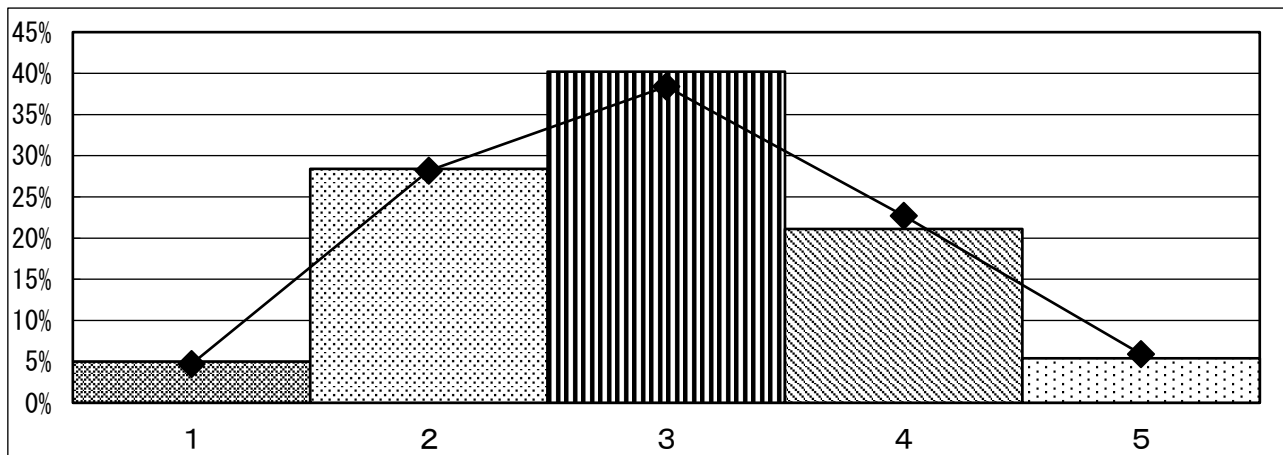
- ・全国と比べ、正答数が5～9問の生徒の割合が高い。
- ・全国と比べ、正答数が10～12問の生徒の割合が低い。



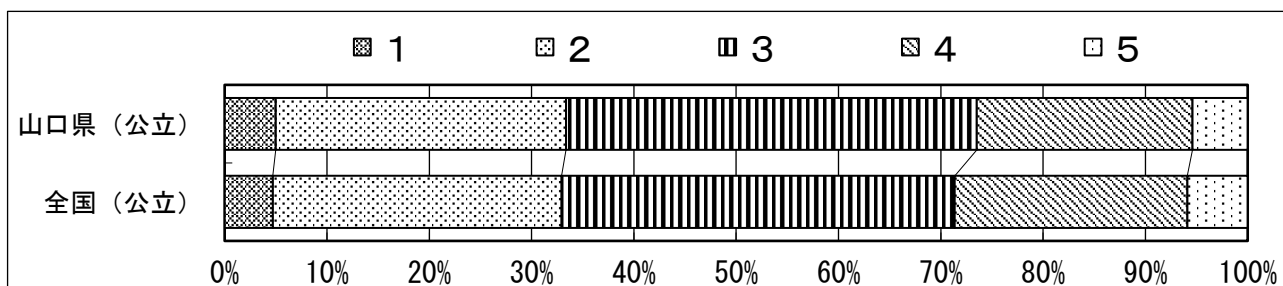
<参考>【中学校 英語】（平均 I R Tスコア 山口県 495～504、全国 499）

- ・ I R Tバンドは、全国と同様の分布状況である。

I R Tバンド分布グラフ（横軸： I R Tバンド 縦軸：割合）



I R Tバンド分布比較



※ I R Tスコアとは

I R T（項目反応理論）に基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの

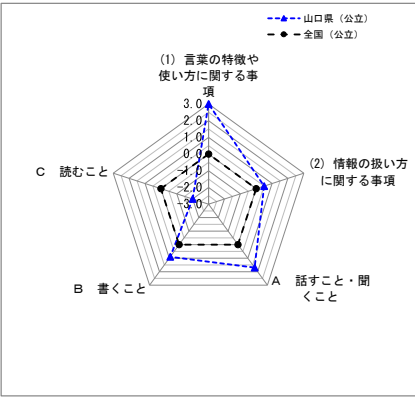
※ I R Tバンドとは

I R Tスコアを1～5の5段階に区切ったもの（3が基準のバンド、5が最も高いバンド）

③問題別調査結果
小学校第6学年 国語

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				山口県（公立）	全国（公立）
全体			13	62	60.9
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	69.9	66.8
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	52.8	52.3
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	67.5	65.8
		B 書くこと	2	46.6	45.7
		C 読むこと	2	63.9	65.9
評価の観点	知識・技能		6	64.2	62.0
	思考・判断・表現		7	60.5	60.1
	主体的に学習に取り組む態度		0		
問題形式	選択式		9	62.8	61.9
	短答式		2	65.7	62.6
	記述式		2	56.1	54.9

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞

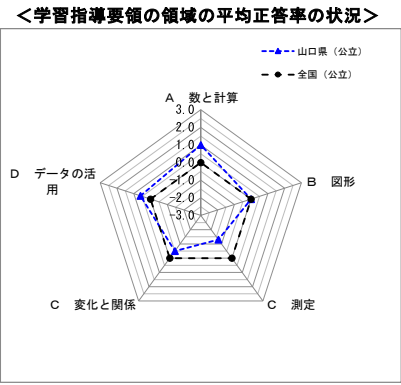


問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと										
1一	【構成メモ】の工夫として適切なものを選択する	相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができるかどうかをみる				3・4イ				○		○			77.2	73.9	0.8	0.8
1二(1)	【動画の一部】の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			61.1	60.2	0.6	0.6
1二(2)	【動画の一部】の太線囲みの部分の工夫として適切なものを選択する	資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			64.2	63.2	0.8	0.7
1二(3)	〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる	5・6ク							○		○			71.0	65.2	0.8	0.8
2一	花山さんの文章の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる				5・6イ				○		○			56.3	57.9	0.7	0.8
2二	【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる		3・4ア						○		○			49.1	48.9	1.2	1.1
2三ア	【花山さんの文章の一部】の下線部アを、漢字を使って書き直す(みじか・い)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ							○		○			82.4	80.0	2.6	4.1
2三イ	【花山さんの文章の一部】の下線部イを、漢字を使って書き直す(ふしぎ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ							○		○			48.9	45.2	4.9	6.6
2四	【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる				5・6エ				○		○			37.0	33.5	4.7	5.2
3一	【文章】の特徴として適切なものを選択する	話や文章の種類とその特徴について理解することができるかどうかをみる	5・6カ							○		○			77.2	76.7	2.5	2.2
3二	傍線部①、②、③について【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		5・6イ						○		○			56.4	55.6	2.8	2.5
3三(1)	【話し合いの様子の一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	目的に応じて、必要な情報を見付けることができるかどうかをみる				5・6ウ				○		○			52.5	55.5	3.7	3.3
3三(2)	【文章】を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				5・6オ				○		○			75.3	76.4	16.8	15.6

小学校第6学年 算数

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山口県(公立)	全国(公立)
全体		16	57	56.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	62.1	61.1
	B 図形	4	55.3	55.3
	C 測定	1	76.8	78.1
	C 変化と関係	3	40.6	41.1
	D データの活用	4	49.2	48.6
評価の観点	知識・技能	12	60.3	60.1
	思考・判断・表現	4	47.2	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	56.6	56.0
	短答式	8	59.5	59.7
	記述式	3	51.2	48.5



(注) 「学習指導要領の領域」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、各区分の問題数を合計した数は「全体」の問題数とは一致しない。

問題別集計結果

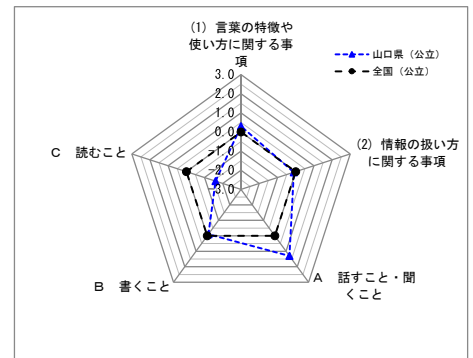
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
1 (1)	一辺が8 cmの立方体の体積を求める式を書く	立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる	5 (4) ア(イ)					○			○			74.9	72.7	0.8	0.8
1 (2)	直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く	直方体の箱の形を構成する面について理解しているかどうかをみる	2 (1) ア(イ) 4 (2) ア(ア)					○			○			62.6	63.0	0.6	0.6
1 (3)	1立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く	体積の意味について理解しているかどうかをみる	5 (4) ア(ア)					○			○			38.6	40.1	0.8	0.7
1 (4)	四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く	日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	2 (2) ア(ア)	4 (2) ア(ア)			3 (1) ア(ア)	○			○			45.1	45.2	0.8	0.8
2 (1)	74291の百の位の数を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	数を四捨五入して、概数で表すことができるかどうかをみる	4 (2) ア(イ)					○			○			67.2	66.5	0.7	0.8
2 (2)	インガメ14匹が動物園全体のカメの数の20%に当たるとき、動物園全体のカメの数を求める式と答えを書く	百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうかをみる				5 (3) ア(イ)		○			○			53.3	53.1	1.2	1.1
2 (3)	ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみる				5 (2) ア(ア)		○			○			35.0	36.1	2.6	4.1
2 (4)	赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を選ぶ	基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができるかどうかをみる	4 (4) ア(ア)			5 (3) ア(ア)		○			○			33.4	34.2	4.9	6.6
3 (1)	1、5、9の3枚のカードを当てはめてつくることのできる最も大きい数を書く	小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつることができるかどうかをみる	4 (4) ア(イ)					○			○			94.9	94.5	4.7	5.2
3 (2)	二つの小数のどちらが5に近いかを判断するために、6.37-5と5-3.76を計算する	整数と小数の減法の計算をすることができるかどうかをみる	4 (4) ア(ア)					○			○			58.7	58.1	2.5	2.2
3 (3)	7/3と7/4のどちらの方が大きいかを判断し、そのわけを書く	異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる	4 (5) ア(ア) 4 (7) ア(ア) 7 (7) ア(ア) 4 (7) ア(ア)					○			○			48.3	44.0	2.8	2.5
3 (4)	5/3を表す目盛りが示された数直線上で、1を表す目盛りを選ぶ	単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えることができるかどうかをみる	3 (6) ア(ア) ア(イ)					○			○			72.2	68.1	3.7	3.3
4 (1)	全員分のアンケートが整理されていない学級を見付け、その根拠となる人数を表1と表2の中から書く	示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる					3 (1) ア(ア)	○			○			60.3	56.2	16.8	15.6
4 (2)	昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分間かを書く	示された情報を基に、数量の関係を着目して、条件に合う時間を求めることができるかどうかをみる	2 (2) ア(ア) 3 (4) ア(ア)		3 (2) ア(イ)			○			○			76.8	78.1	7.6	3.7
4 (3)	二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる					4 (1) ア(ア)	○			○			16.3	17.9	2.9	1.6
4 (4)	帯グラフから、「いっしょに話ができたこと」の割合が約何%かを選ぶ	帯グラフの特徴と読み方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうかをみる					5 (1) ア(ア)	○			○			75.0	74.9	5.4	3.9

※本設問においては、思考力、判断力、表現力等を見るために用いる知識及び技能を示している。

中学校第3学年 国語

分類		区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
				山口県(公立)	全国(公立)
全体			15	64	63.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	63.3	63.0
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	1	70.3	70.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0	－	－
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	65.2	63.9
		B 書くこと	3	67.3	67.4
		C 読むこと	3	58.1	59.7
評価の観点		知識・技能	6	64.5	64.2
		思考・判断・表現	9	63.5	63.7
		主体的に学習に取り組む態度	0	－	－
問題形式		選択式	9	72.9	72.7
		短答式	3	56.4	55.8
		記述式	3	44.5	45.5

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況(全国との差)＞



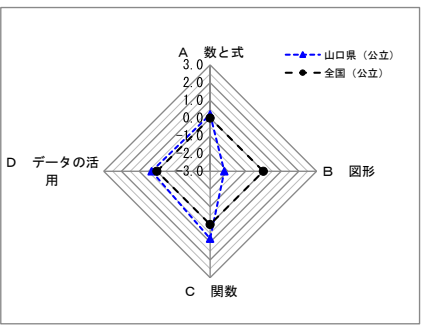
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能			主体的に学習に取り組む態度			山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式				
1一	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	助動詞の働きについて理解しているかどうかをみる	2オ						○			○			84.1	84.3	0.2	0.2
1二	「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する	単語の類別について理解しているかどうかをみる	1エ						○			○			70.5	70.2	0.3	0.3
1三	「ら抜き言葉」であるものを選択する	単語の活用について理解しているかどうかをみる	2オ						○			○			85.8	85.4	0.2	0.2
2一	発言について説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる				1ア			○			○			70.0	68.5	0.2	0.3
2二	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができるかどうかをみる				1エ			○			○			71.5	70.4	0.2	0.3
2三	話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができるかどうかをみる		2イ					○			○			70.3	70.4	0.4	0.4
2四	話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる				2オ			○				○		54.1	52.7	13.5	14.7
3一	文書作成ソフトに表示された意味と用例を参考にして、漢字を書き、漢字の組合せとして適切なものを選択する(とる)	文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる	2ウエ						○			○			40.8	39.8	0.2	0.3
3二	気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く	表現の効果を考えて描写することができるかどうかをみる					2ウ		○				○		93.1	92.3	4.2	4.8
3三	文章の展開の意図を説明したものとして適切なものを選択する	段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができるかどうかをみる					2イ		○			○			64.1	65.0	0.4	0.5
3四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる					2オ		○				○		44.8	45.0	10.4	10.7
4一	文章全体を三つに分けて整理したものとして適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉えることができるかどうかをみる						1ア	○			○			72.2	71.6	0.6	0.7
4二	国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることができるかどうかをみる		1ウ					○				○		35.3	35.2	20.1	19.8
4三	文章中に書かれている、会話の表情を表す擬音語・擬態語の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるかどうかをみる						1ウ	○			○			67.4	68.7	0.9	1.1
4四	二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる						1オ	○				○		34.6	38.9	18.7	18.6

中学校第3学年 数学

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山口県（公立）	全国（公立）
全体		16	57	57.0
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	68.0	67.8
	B 図形	4	46.5	48.7
	C 関数	3	55.6	54.8
	D データの活用	4	53.8	53.5
評価の観点	知識・技能	12	62.5	63.0
	思考・判断・表現	4	39.4	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	0	－	－
問題形式	選択式	3	58.8	59.3
	短答式	9	63.7	64.2
	記述式	4	39.4	39.1

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況(全国との差)＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山口県(公立)	全国(公立)	山口県(公立)	全国(公立)
1	2月3日のA市の最高気温が最低気温より何℃高くなったかを書く	具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表すことができるかどうかをみる	1(1) ア(ウ)				○				○		84.8	85.7	0.4	0.6
2	$7x+9-5x+7x^2+2x$ から、 $7x$ の同類項をすべて書く	同類項の意味を理解しているかどうかをみる	2(1) ア(ウ)				○				○		70.8	70.5	2.0	2.2
3	四角形PQRSにおいて、PS平行QRを示すための根拠となる二つの角を書く	2直線が平行になるための条件を理解しているかどうかをみる		2(1) ア(ア)			○				○		43.9	49.1	2.7	2.8
4	反比例の表において、 x の値が -3 のときの y の値を求める	反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めることができるかどうかをみる			1(1) ア(イ)		○				○		58.1	55.3	0.9	1.1
5	大小二つのさいころを同時に投げるとき、大きいさいころの目が6で小さいさいころの目が1である確率を求める	起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めることができるかどうかをみる				2(2) ア(イ)	○				○		58.4	60.2	4.7	4.8
6(1)	選んだ2数が3と6のときについて、陸斗さんの予想が成り立つことを示す式を書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えているかどうかをみる	2(1) ア(エ)				○				○		74.1	73.2	6.0	6.6
6(2)	陸斗さんの予想がいつでも成り立つことを説明するための方針を完成するために、当てはまるものを選ぶ	事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができるかどうかをみる	2(1) ア(ウ)				○			○			64.6	65.0	0.5	0.6
6(3)	手順にしたがってできたAとBについて、 $A-B$ の値がどんな数になるかを、選んだ2数の差に着目して説明する	統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(イ)				○				○		45.6	44.6	25.2	26.5
7(1)	動画の時間とデータ量の関係を表すグラフにおいて、点Cの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる			1(1) ア(ウ)		○				○		74.7	75.2	5.6	5.6
7(2)	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる			1(1) イ(イ)		○				○		33.8	33.9	39.9	39.6
8(1)	$\angle AOB$ の大きさが a° のとき、 $\angle POB$ の大きさを a を用いた式で書く	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(ア)				○				○		60.3	62.5	9.4	9.0
8(2)	図1において、 $AB=AP$ 、 $OB=OP$ ならば $\angle AOB=\angle AOP$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる		2(2) イ(イ)			○				○		45.0	46.1	23.8	22.2
8(3)	図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことができるかどうかをみる		2(2) ア(イ)			○			○			36.6	37.1	1.0	1.0
9(1)	全校生徒の睡眠時間の度数分布表において、最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(ア)	○				○		48.4	46.0	13.5	14.3
9(2)	学年別の睡眠時間について、学年別睡眠時間の箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを選ぶ	箱ひげ図と四分位数の対応について理解しているかどうかをみる				2(1) ア(ア)	○			○			75.2	75.8	0.7	0.7
9(3)	「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明することができるかどうかをみる				1(1) イ(ア)	○				○		33.2	31.9	29.4	28.9

中学校第3学年 英語

問題別集計結果（公開問題）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（％）		無解答率（％）	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと「やり取り」	(4) 話すこと「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式／口述式	記述式／口述式	山口県（公立）	全国（公立）	山口県（公立）	全国（公立）
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる	○※					○			○			57.1	60.2	0.3	0.2
2	ショッピングセンターでのアナウンスを聞き、行くべき階を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			76.2	78.5	0.1	0.1
3	学校見学についての説明を聞き、行くべき場所を選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			74.3	76.0	0.0	0.1
4	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する	日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			41.8	43.8	0.1	0.3
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			54.6	55.6	0.3	0.2
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる		○※				○			○			67.5	67.3	0.7	1.1
7	誕生日パーティーに関するメールを読み、最も適切な時刻を選択する	日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			71.4	72.4	0.2	0.1
8	友達からのメッセージを読み、相手が示した条件に合うウェブサイトを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			65.3	63.8	0.2	0.1
9	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化を表したものを選択する	日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えることができるかどうかをみる		イ					○		○			47.1	49.0	0.1	0.1
10(1)	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる	ウ						○		○			45.0	47.5	0.2	0.2
10(2)	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ		○			○		24.6	27.8	16.2	14.6
11①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		60.0	58.9	2.7	2.5
11②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているかどうかをみる					ア	○				○		54.1	52.7	3.0	3.0
12	中学生になってからの思い出を1つ取り上げ、そこで体験したことと感想を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	46.9	47.5	9.4	8.7
13	留学生との交流会で一緒にしたいことを1つ取り上げ、その理由を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	46.2	44.0	10.0	9.3
14	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについて説明を書く	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○				○	26.3	27.8	14.6	14.2

※「学習指導要領の領域」における「○」は、五つの領域別の目標に分類されない「知識及び技能」を示している。

(3) 具体的な問題と解答状況

① 小学校第6学年 国語

○比較的できている点

「比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと」について、全国平均を5.8ポイント上回っている。

1 二(3) 正答率 山口県：71.0% 全国：65.2%

- 4 息をふきこむときの息の強さを伝える効果
- 3 息をふきこむときのくきの持ち方を伝える効果
- 2 息をふきこむときの音を伝える効果
- 1 息をふきこむときのきんちよう感を伝える効果

(3) 岡野さんたちのグループは、「動画の一部」の中で、「映像」だけでは伝わりにくいことを伝えるために、「音声」の——部をくふうしました。そのくふうの効果として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【動画の一部】

映像	音声
	岡野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	岡野「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー♪(くき笛の音)』 岡野「これは何の音だと思いますか。」 水谷「これはたんぼぼで作ったくき笛の音です。」
	岡野「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷「くき笛は、たんぼぼの花の部分を取りのぞいて」
	水谷「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむと」 『ピー♪(くき笛の音)』 水谷「このように音を出すことができます。」
	水谷「くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」 『ピー♪(くき笛の音)』『ポー♪(くき笛の音)』
	岡野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

二 岡野さんたちのグループは、「構成メモ」をもとに、「中①」を次の「動画の一部」のようにさつえいしました。これをよく読んで、あとの(1)から(3)の問いに答えましょう。

【正答】 4

●課題のある点

「目的に応じて、必要な情報を見付けること」について、全国平均を3.0ポイント下回っており、課題が見られる。

3 三（1） 正答率 山口県：52.5% 全国：55.5%

三 林さんは、「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の「話し合いの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

林さん	私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の（ ）部アを示しながら、この部分が特に考えさせられたんだ。
小川さん	どんなことを考えたの。
林さん	この部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると
小川さん	なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。
林さん	そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。
小川さん	ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。

（話し合いが続く）

(1)

【話し合いの様子の一部】の に入る内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 持久走のタイムは速いけれど、苦しいのは嫌い
- 2 スピーチが苦手だし、好きになれそうにもない
- 3 上手ではないけれど、絵をかくのは楽しい
- 4 歌うことが大好きで、人前で歌うのも気持ちがいい

【正答】 3

学び直してみましよう

▶本問題に関連する「やまぐちっ子学習プリント」

- ・小5 国語 「読む 01～04 必要な情報の取り出し方」
- ・小6 国語 「読む 01」

 「やまプリ」CBT
でも取り組みます！
生成 AI にヒントをもらいながら
自分のペースで学び直せます

② 小学校第6学年 算数

○比較的できている点

「異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること」について、全国平均を4.3ポイント上回っている。

3 (3) 正答率 山口県：48.3% 全国：44.0%

$\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ では、どちらの方が大きいですか。下の ア から ウ までのの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、数や言葉を使って書きましょう。

ア $\frac{7}{3}$ の方が大きい。

イ $\frac{7}{4}$ の方が大きい。

ウ $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ の大きさは等しい。

【正答例】

【記号】ア

【わけ】 $\frac{7}{3}$ と $\frac{7}{4}$ を通分すると、 $\frac{7}{3}$ は $\frac{28}{12}$ 、 $\frac{7}{4}$ は $\frac{21}{12}$ なので、 $\frac{7}{3}$ の方が大きいです。

●課題のある点

「二次元の表から、条件に合う数を読み取ること」について、全国平均を1.6ポイント下回っており、課題が見られる。

4 (3) 正答率 山口県：16.3% 全国：17.9%

(3) さくらさんたちは、前半と後半のあやとりやかるたに参加する1年生の人数を下の表にまとめました。

前半と後半の遊びごとの人数 (人)				
		後半		合計
		あやとり	かるた	
前半	あやとり	4	9	13
	かるた	8	7	15
合計		12	16	28

さくらさんたちは、あやとりに参加する1年生にひもをわたします。
わたすひもの本数を知るために、表からあやとりに参加する人数を調べると、次のことがわかります。

前半にあやとりに参加する人数は 人です。

前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数は 人です。

上のア、イに入る数を、それぞれ書きましょう。

【正答】 【ア】 13 (人) , 【イ】 8 (人)

学び直してみよう

▶本問題に関連する「やまぐちっ子学習プリント」

・小4算数「調べ方と整理の仕方」



「やまプリCBT」
でも取り組みます!

生成AIにヒントをもらいながら
自分のペースで学び直せます

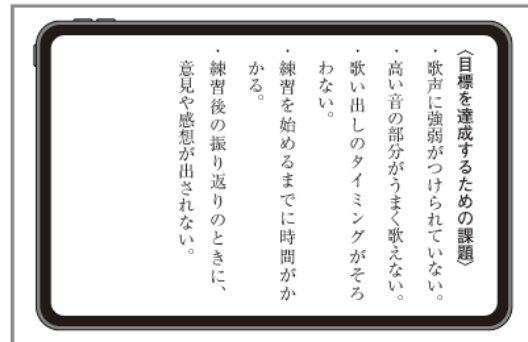
③ 中学校第3学年 国語

○比較的できている点

「目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること」について、全国平均を1.5ポイント上回っている。

2 一 正答率 山口県：70.0% 全国：68.5%

- 一 【話し合いの一部】の――線部①「まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。」という発言について説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 これから話し合う内容と手順を明確にしようとしている。
 - 2 話し合う話題を広げて様々な意見を集めようとしている。
 - 3 話し合いの前に行った情報の収集の仕方を振り返ろうとしている。
 - 4 これまでの話し合いで出された意見から重要なものを選ぼうとしている。



2 合唱コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題についてアンケートをとり、その解決のために、出された意見をタブレット端末上で共有しながら話し合っています。次の「アンケートの結果を示した画面」、「話し合いの一部」、「話し合いを受けて整理した画面」を読んで、あとの問いに答えなさい。

アンケートの結果を示した画面



【話し合いの一部】

山下 私たちの学級の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで「目標を達成するための課題」として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。①まずはみんながどんなことを課題として考えているかを整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。

石川 そうですね。〈目標を達成するための課題〉を見ると、歌の表現の仕方に関わるものと、練習への取り組み方に関わるものの二つに分けられるのではないですか。

山下 私もそう思います。例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますよね。

石川 「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ります。

大森 そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に関わるものになりますね。

山下 まずは、〈目標を達成するための課題〉を二つに分けられましたね。

【正答】 1

●課題のある点

「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること」について、全国平均を4.3ポイント下回っており、課題が見られる。

4 四 正答率 山口県：34.6% 全国：38.9%

四 林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、〈具体的な場面〉を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみました。あなたは、〈例文1〉と〈例文2〉を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

〈具体的な場面〉



〈例文1〉（擬態語を使っていない例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒は言った。

〈例文2〉（擬態語を使った例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」
生徒はきつぱりと言った。

条件1 〈例文2〉の擬態語「きつぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件2 条件1で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

【正答例】 「きつぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。

学び直してみましょう

▶本問題に関連する「やまぐちっ子学習プリント」

・中1国語「読む01」「読む02」



「やまプリ」CBT

でも取り組みます！

生成AIにヒントをもらいながら
自分のペースで学び直せます

④ 中学校第3学年 数学

○比較的できている点

「反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求めること」について、全国平均を2.8ポイント上回っている。

4 正答率 山口県：58.1% 全国：55.3%

4 下の表は、 y が x に反比例する関係を表したものです。□に当てはまる数を求めなさい。

x	...	-3	-2	-1	0	1	2	...
y	...	□	-6	-12	X	12	6	...

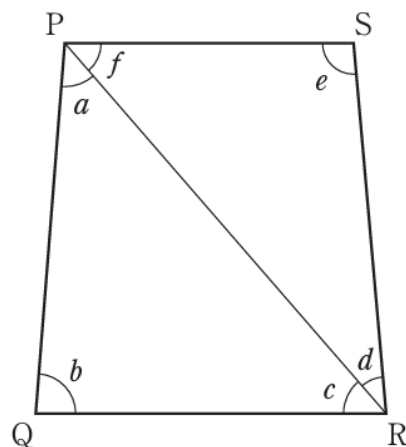
【正答】 -4

●課題のある点

「2直線が平行になるための条件を理解すること」について、全国平均を5.2ポイント下回っており、課題が見られる。

3 正答率 山口県：43.9% 全国：49.1%

3 下の図は、四角形PQRSに対角線PRをひいたものです。



上の図において、 $\angle a$ から $\angle f$ までの6つの角のうち、ある2つの角の大きさが等しければ、 $PS \parallel QR$ であるといえます。その2つの角を書きなさい。

【正答】 $\angle c$ と $\angle f$

学び直してみましょう

▶本問題に関連する「やまぐちっ子学習プリント」

・中2数学「図形の調べ方」



「やまプリ」CBT

でも取り組みます!

生成AIにヒントをもらいながら
自分のペースで学び直せます

⑤ 中学校第3学年 英語

○比較的できている点

「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと」について、全国平均を2.2ポイント上回っている。

13 正答率 山口県：46.2% 全国：44.0%

あなたは、留学生のトム（Tom）と仲良くなるために、交流会で一緒にしたいことをクラスに提案することになりました。「トムと一緒にしたいことを1つ取り上げ」、「なぜそれをしたいのか」を、15語以上30語以内の英語で書きなさい。なお、交流会でしたいことは下の【例】を参考にしてもかまいません。



【正答例】

I want to cook curry and rice with Tom. We cooked curry and rice at our school camp, so we can teach him. I think he will like it. (29 語)

●課題のある点

「社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと」について、全国平均を3.2ポイント下回っており、課題が見られる。

10 (2) 正答率 山口県：24.6% 全国：27.8%

中学生のまいこ（Maiko）が英語の授業でインターネットの使用に関する文章を書きました。次の（１）と（２）の問いに答えなさい。

（２）まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。

【まいこが書いた文章】にある表現を使って書いてもかまいません。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

【正答例】

「あなたの考え」

Your opinion is good.

「なぜそう考えるのか」

Students can get a lot of information for learning on the internet.

学び直してみましょう

▶本問題に関連する「やまぐちっ子学習プリント」

- ・やまぐちっ子プラス 読むこと・書くこと
(ボランティア活動のチラシを見ながらのやり取り)



「やまプリCBT」

でも取り組みます!

生成 AI にヒントをもらいながら
自分のペースで学び直せます

3 質問調査の結果

(1) 児童生徒質問調査の結果

①質問項目一覧

※「やまぐちPRIDE」の醸成に関わる質問〔質問8、10、33〕

No.	ページ	小学校	中学校	質問項目
1	P. 24	8	8	<u>自分には、よいところがあると思う</u>
2	P. 24	10	10	<u>将来の夢や目標を持っている</u>
3	P. 25	33	33	<u>地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う</u>
4	P. 25	12	12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
5	P. 26	20	20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う
6	P. 26	22	22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか
7	P. 27	23	23	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか
8	P. 27	39	39	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
9	P. 28	41	41	授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
10	P. 28	42	42	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている
11	P. 29	43	43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
12	P. 29	47	47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる
13	P. 30	51	51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる
14	P. 31	53 61 70	53 61 70	国語、算数(数学)、英語の勉強は好きだ

②各質問の結果

○…全国との比較や経年の比較から見える成果

●…全国との比較や経年の比較から見える課題

1 「やまぐちPRIDE」の醸成の指標としている項目

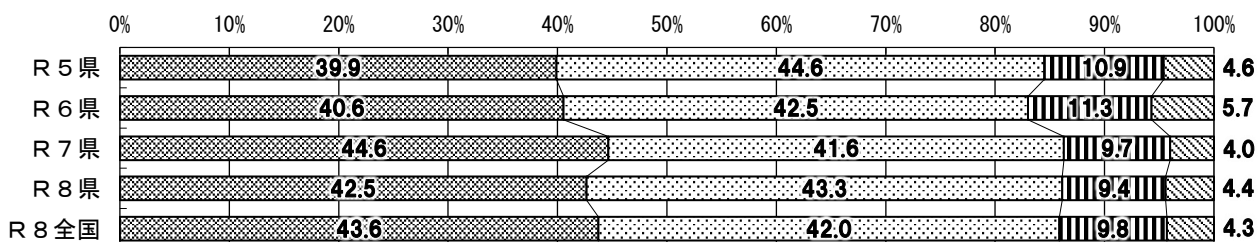
ア 自分にはよいところがある

○ 当てはまると回答した生徒の割合は、中学校で昨年度に比べて増加している。

● 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

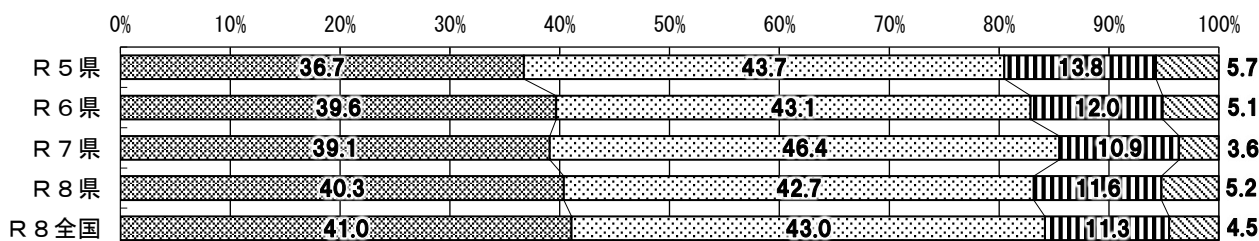
【小学校】(8)自分には、よいところがあると思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(8)自分には、よいところがあると思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

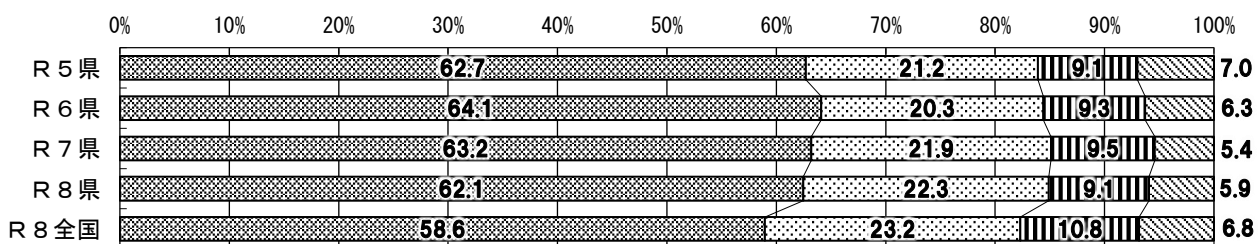


イ 将来の夢や目標を持っている

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。

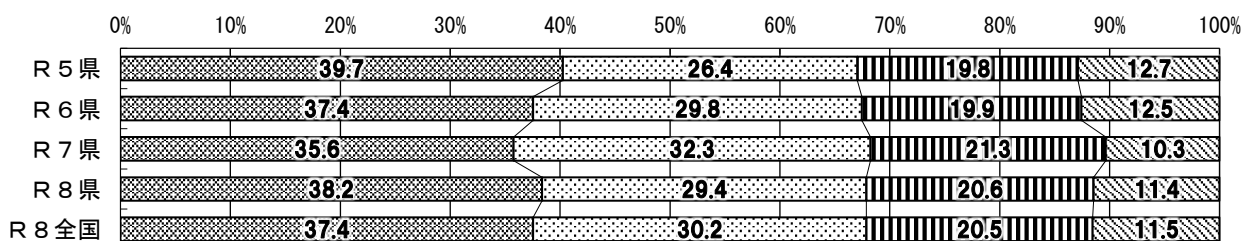
【小学校】(10)将来の夢や目標を持っている

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(10)将来の夢や目標を持っている

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

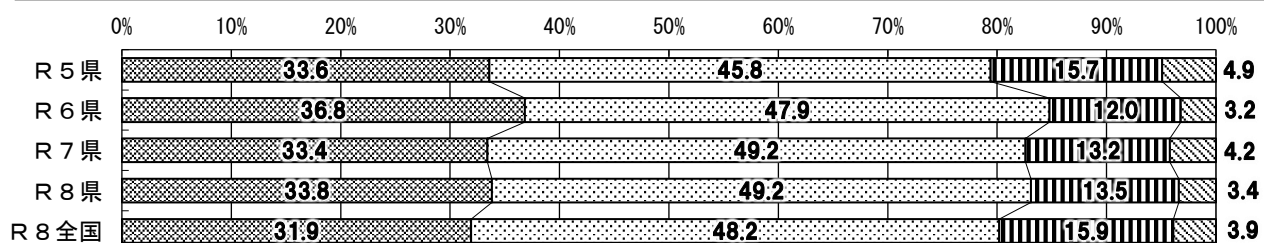


ウ 地域や社会をよくするために何かしてみたい

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回り、昨年度に比べて増加している。

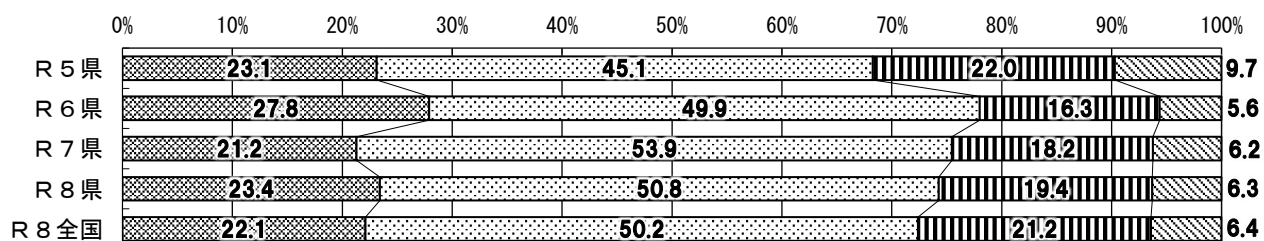
【小学校】(33)地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(33)地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



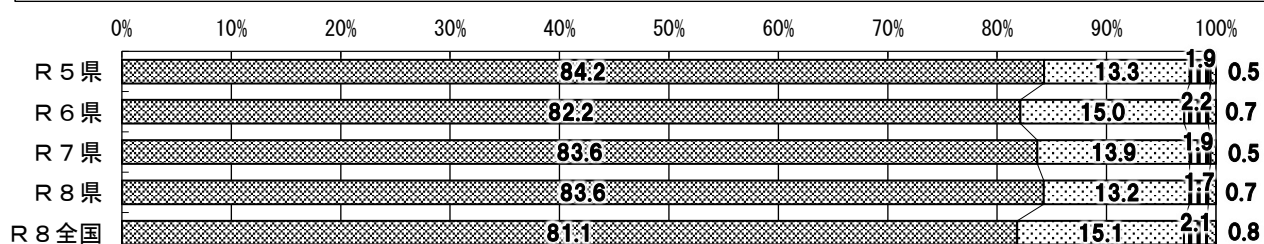
2 子どもの意識・生活習慣

ア いじめは絶対にいけない

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っており、高い水準を維持しているが、さらなる向上が期待される。

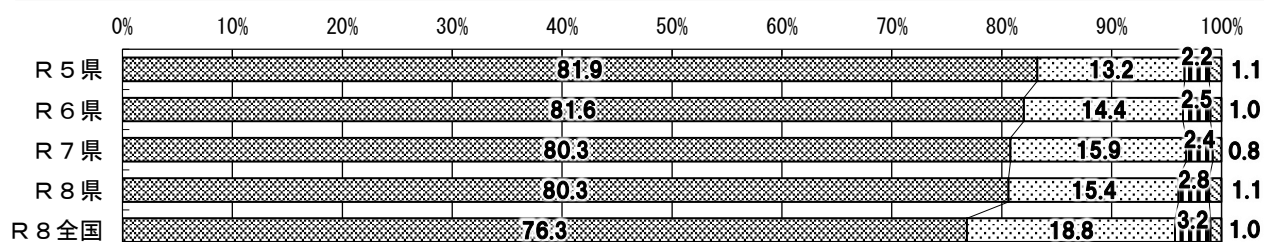
【小学校】(12)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない



【中学校】(12)いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

■1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない ■4. 当てはまらない

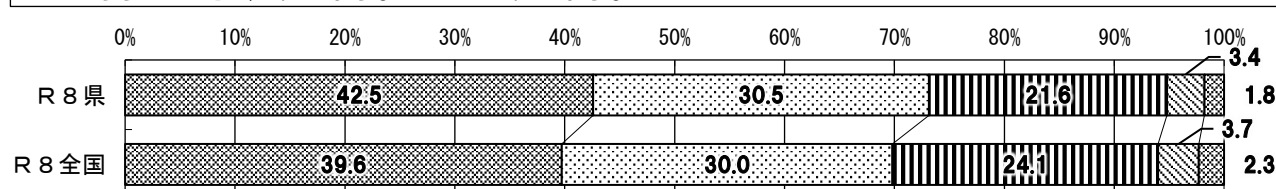


イ 学級では、人と違う意見を言っても否定されない（心理的安全性）

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っている。

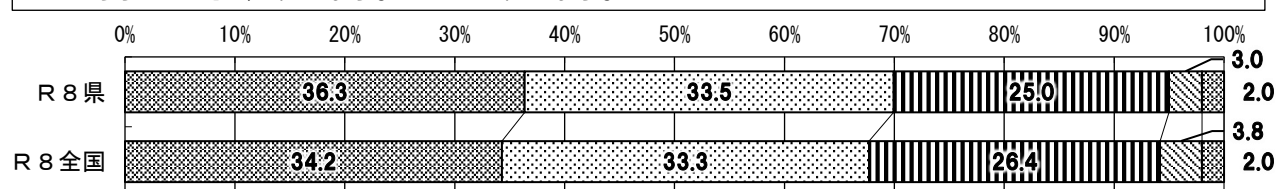
【小学校】(20)あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う

- ☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらともいえない
☐4. どちらかといえば、当てはまらない ☐5. 当てはまらない



【中学校】(20)あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う

- ☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらともいえない
☐4. どちらかといえば、当てはまらない ☐5. 当てはまらない



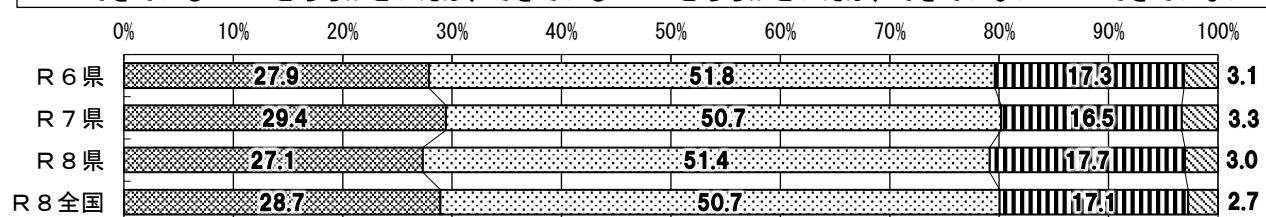
3 学習習慣・ICT

ア 自分で学び方を考え、工夫すること

● できていると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

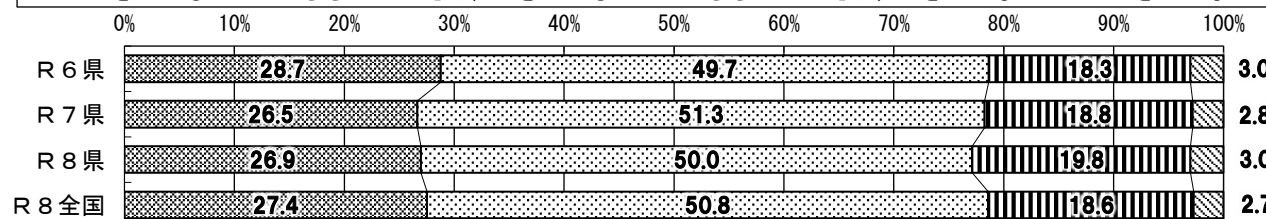
【小学校】(22)分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか

- ☐1. できている ☐2. どちらかといえば、できている ☐3. どちらかといえば、できていない ☐4. できていない



【中学校】(22)分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか

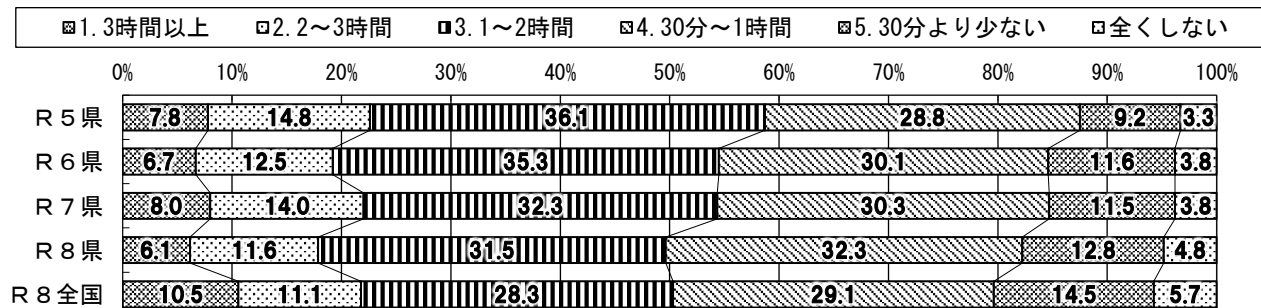
- ☐1. できている ☐2. どちらかといえば、できている ☐3. どちらかといえば、できていない ☐4. できていない



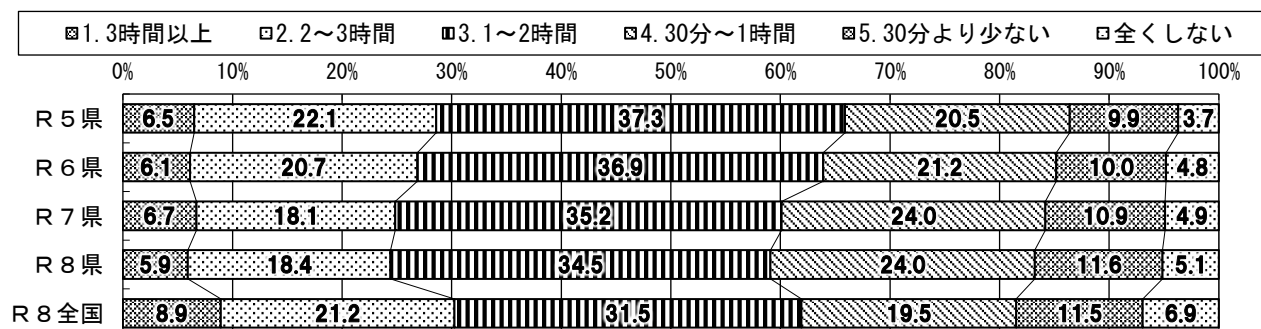
イ 平日の授業時間以外の学習時間

- 学校の授業時間以外の勉強を、平日、「全くしない」「30分より少ない」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともにそれぞれ増加している。

【小学校】(23)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



【中学校】(23)学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

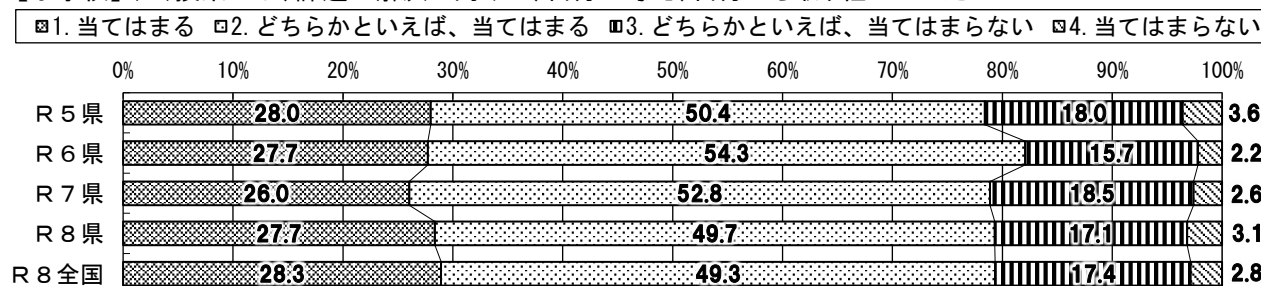


4 学びに向かう姿勢・授業

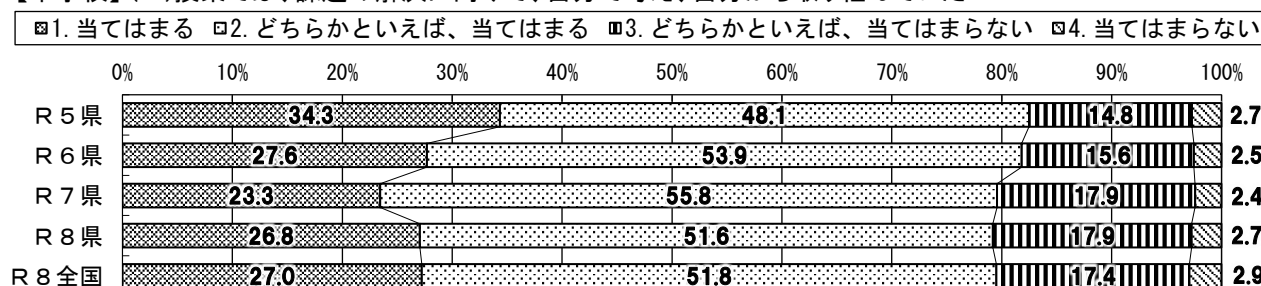
ア 授業において、学習課題の解決に向けて主体的に取り組む

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度に比べて増加している。
- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っている。

【小学校】(39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



【中学校】(39)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた

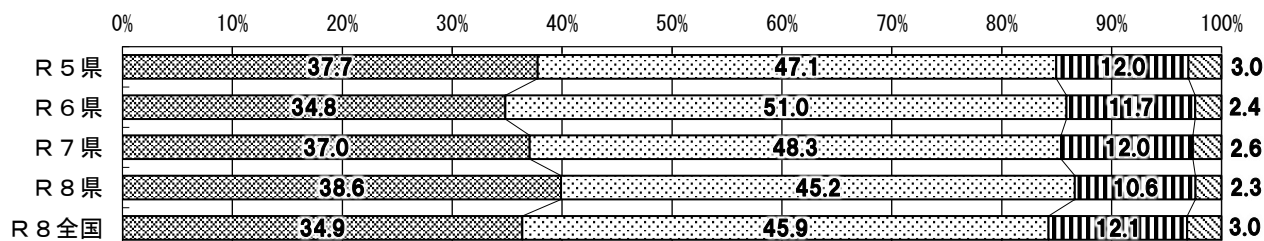


イ 教え方、教材、学習時間は学習者にあっている

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。

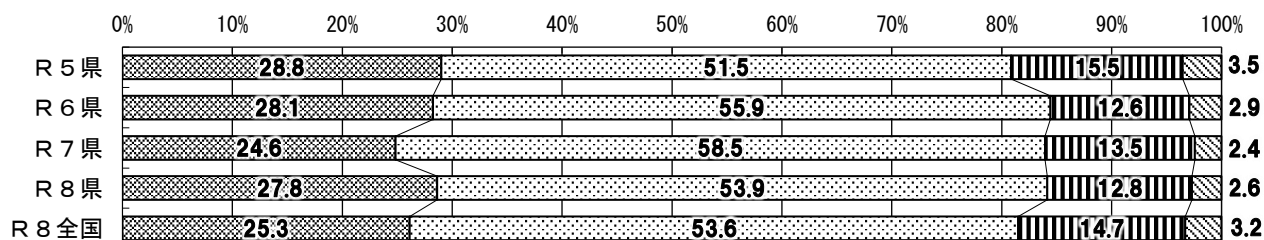
【小学校】(41)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない



【中学校】(41)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない

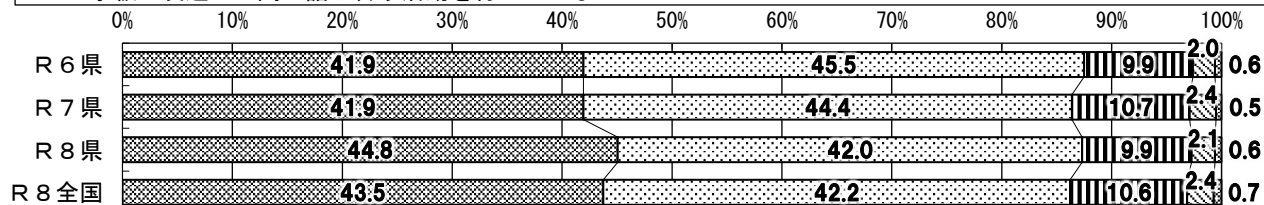


ウ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりする

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度と比べて増加し、全国平均を上回っている。

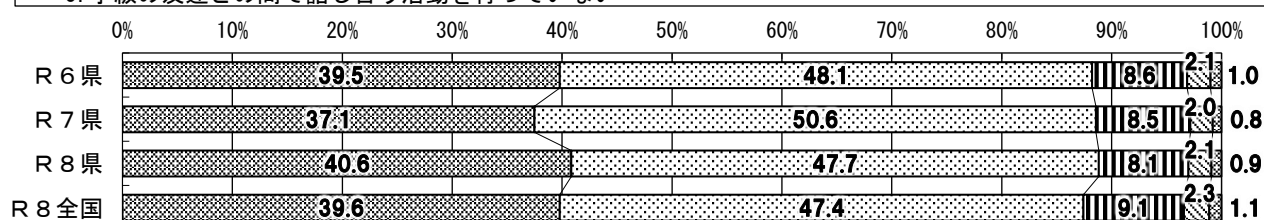
【小学校】(42)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない
□5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



【中学校】(42)学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない
□5. 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

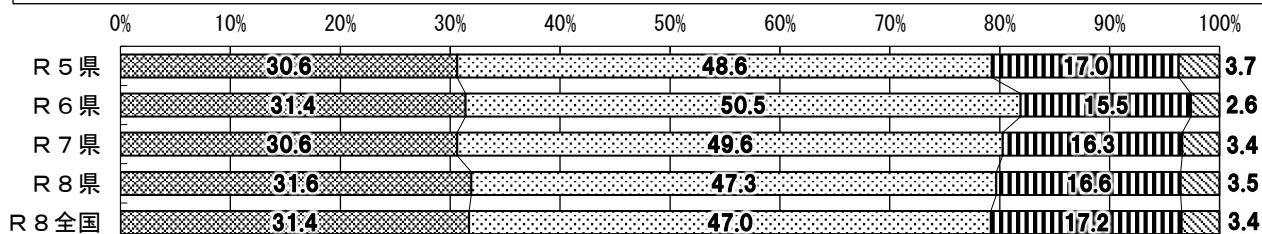


エ 学習内容を振り返り、次の学習につなげる

- 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。

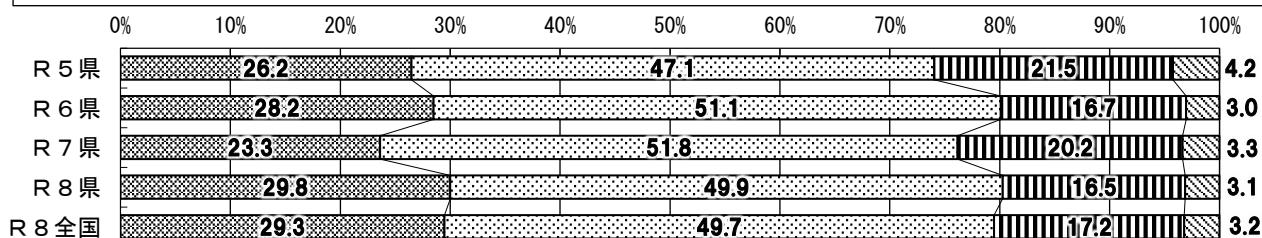
【小学校】(43)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない



【中学校】(43)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない

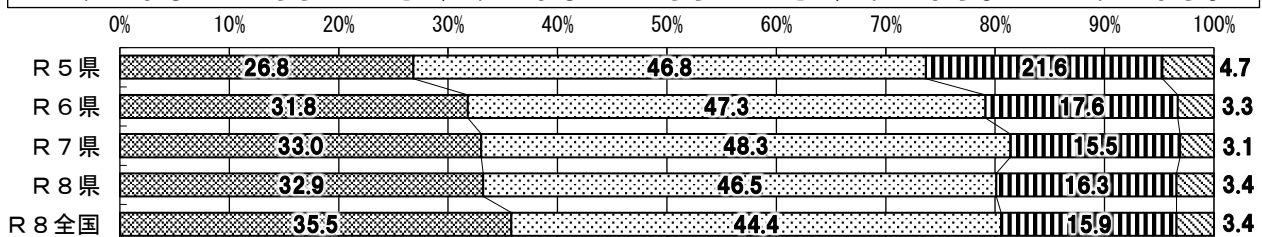


オ 総合的な学習の時間での情報収集や発表等の学習活動に取り組む

- 当てはまると回答した生徒の割合は、中学校では昨年度に比べて増加し全国平均を上回っている。
● 当てはまると回答した児童の割合は、小学校では全国平均を下回っている。

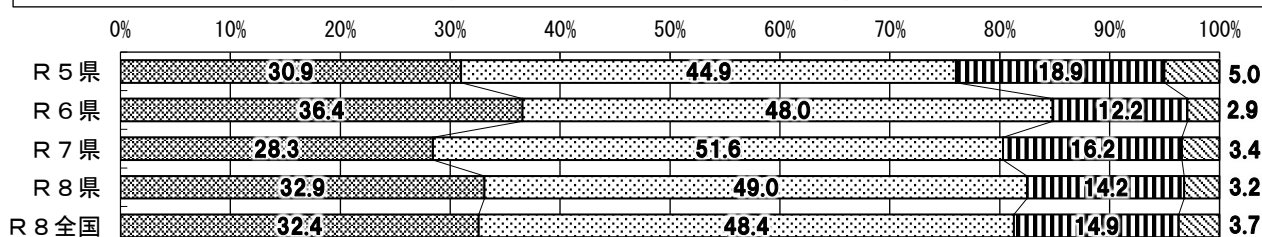
【小学校】(47)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない



【中学校】(47)総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない

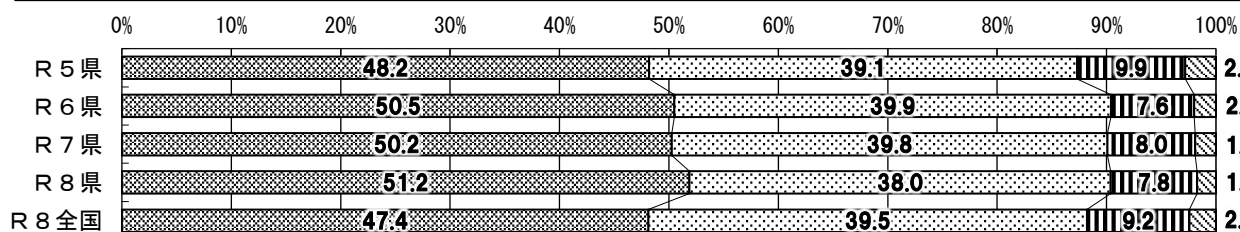


カ 道徳の授業で考えを深めたり、グループで話し合ったりする活動に取り組む

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。

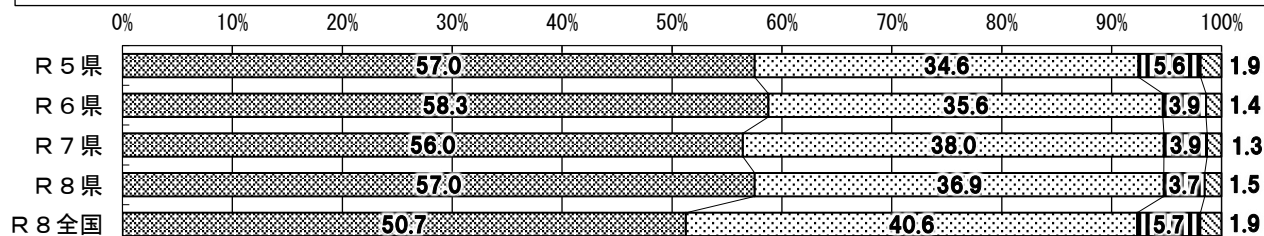
【小学校】(51)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない



【中学校】(51)道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる

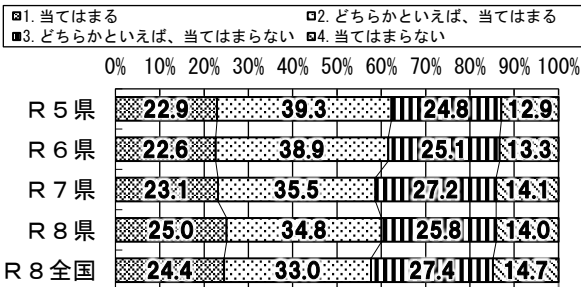
■1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる ■3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない



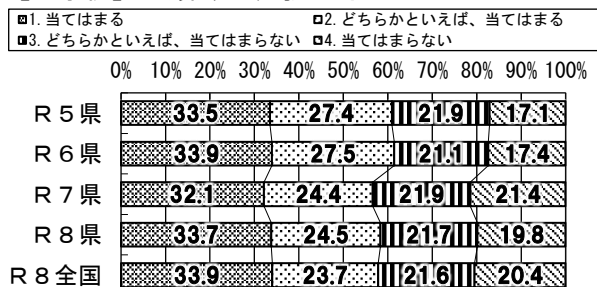
キ 各教科の勉強は好きだ

○ 当てはまると回答した児童生徒の割合は、いずれの教科においても、小・中学校ともに昨年度より増加し、全国平均を上回るか同程度となっている。

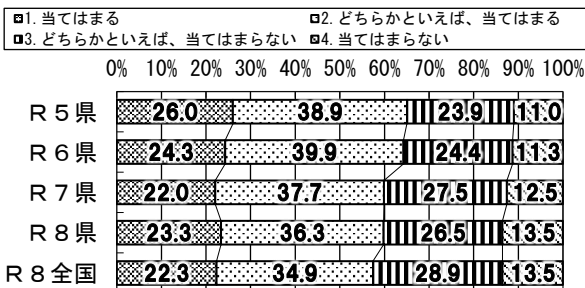
【小学校】(53)国語の勉強は好きだ



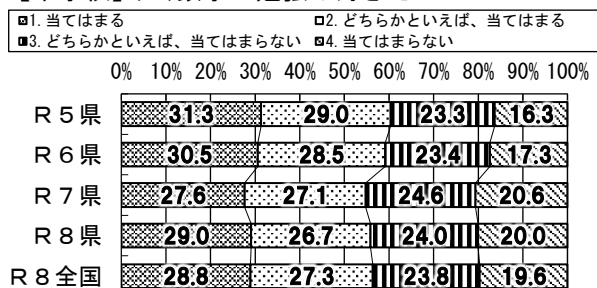
【小学校】(61)算数の勉強は好きだ



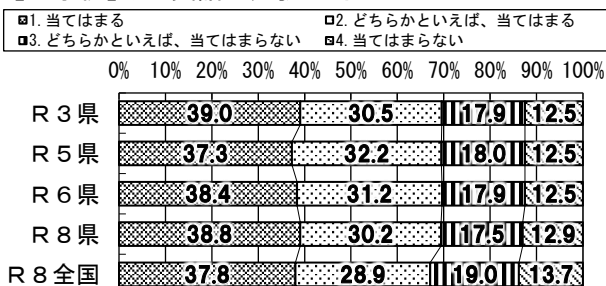
【中学校】(53)国語の勉強は好きだ



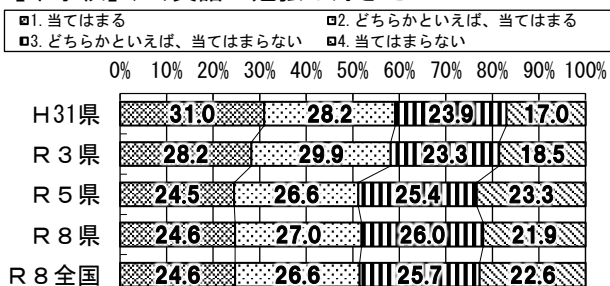
【中学校】(61)数学の勉強は好きだ



【小学校】(70)英語の勉強は好きだ



【中学校】(70)英語の勉強は好きだ



※ 小、中それぞれ、直近4回分の調査結果を掲載している。

(2) 学校質問調査の結果

①質問項目一覧

No.	ページ	小学校	中学校	質問項目
1	P. 33	11	11	学校生活の中で、児童生徒一人ひとりのよい点や可能性を見付け評価する取組を行った
2	P. 33	10	10	児童生徒に将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした
3	P. 34	80	88	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献している
4	P. 34	17	17	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している
5	P. 35	18	18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている
6	P. 35	26	26	児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている
7	P. 36	31	31	学習指導において、児童生徒一人ひとりに応じて、学習課題や活動を工夫している
8	P. 36	33	33	授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている
9	P. 37	35	35	関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行った
10	P. 37	39	39	総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている
11	P. 38	67	75	児童生徒一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか
12	P. 38	70_2	78_2	児童生徒一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校児童生徒に対する授業配信をどの程度行ったか
13	P. 39	78	86	コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童生徒が意見を表明することが出来る取組を行ったか
14	P. 39	82	90	家庭学習について、児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行ったか
15	P. 40	84	92	前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した

②各質問の結果

1 「やまぐちPRIDE」の醸成に関わる項目

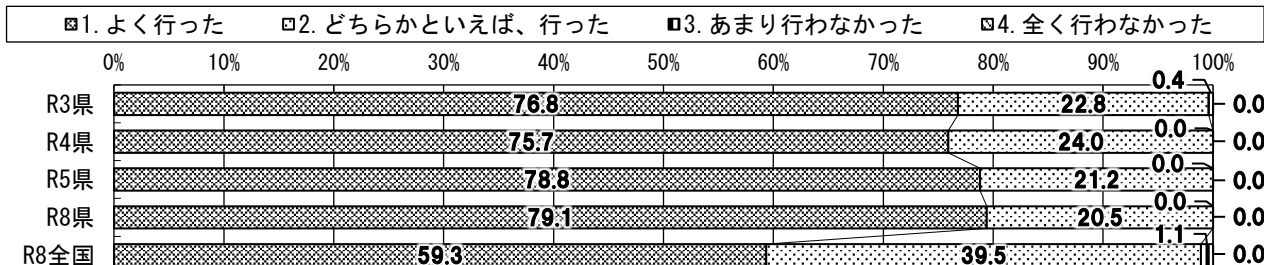
ア 一人ひとりのよい点や可能性を見付け評価している

○…全国や経年の比較から見える成果

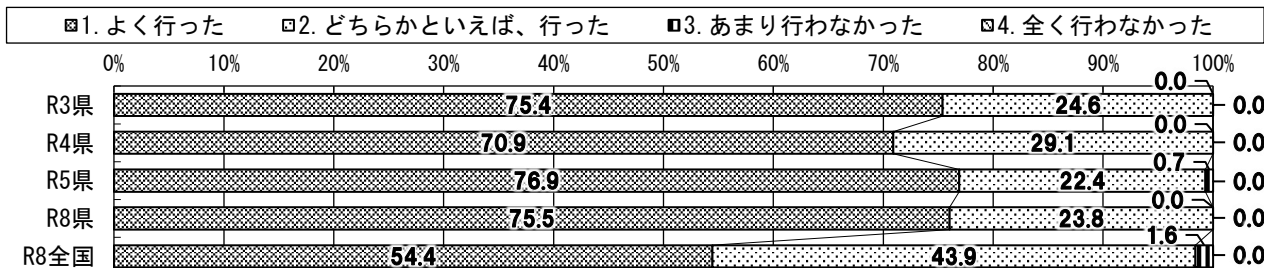
●…全国や経年の比較から見える課題

○ そう思うと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

【小学校】(11)学校生活の中で、児童一人ひとりのよい点や可能性を見付け評価する取組を行った



【中学校】(11)学校生活の中で、生徒一人ひとりのよい点や可能性を見付け評価する取組を行った

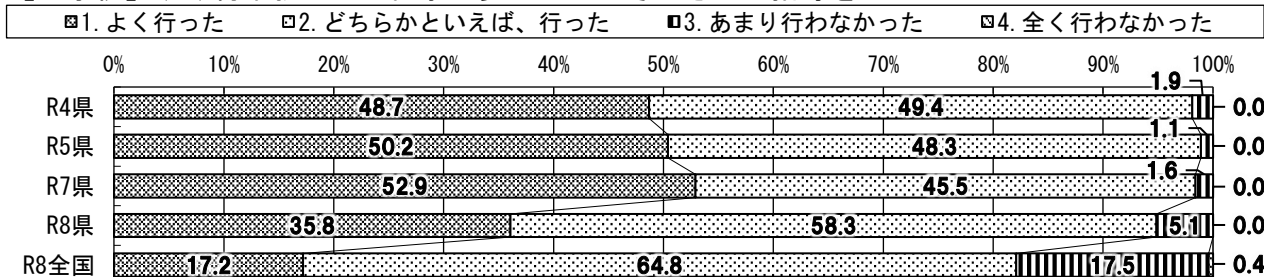


イ 将来就きたい仕事や夢についての指導

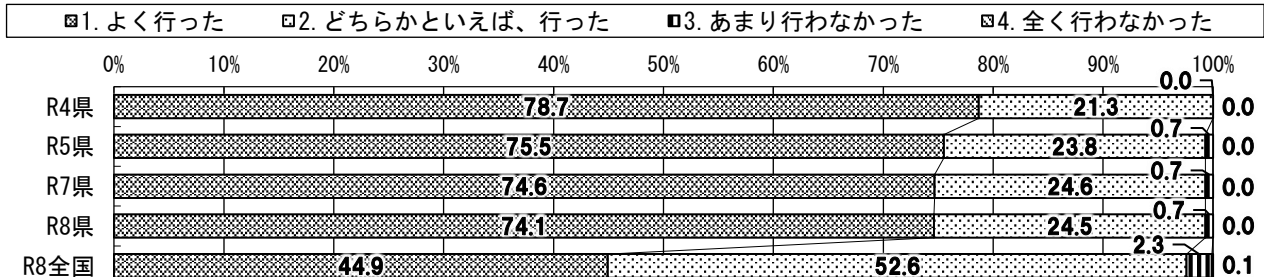
○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

● よく行ったと回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて減少している。

【小学校】(10)将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした



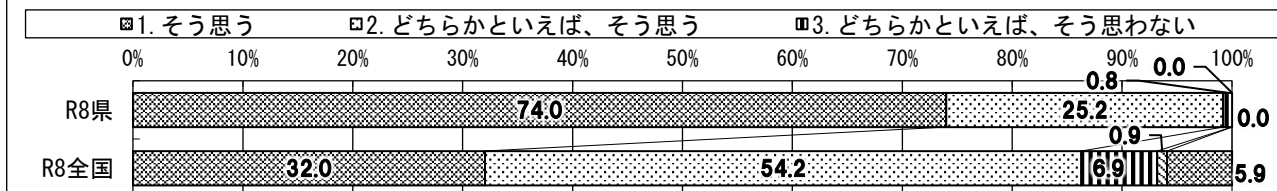
【中学校】(10)将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした



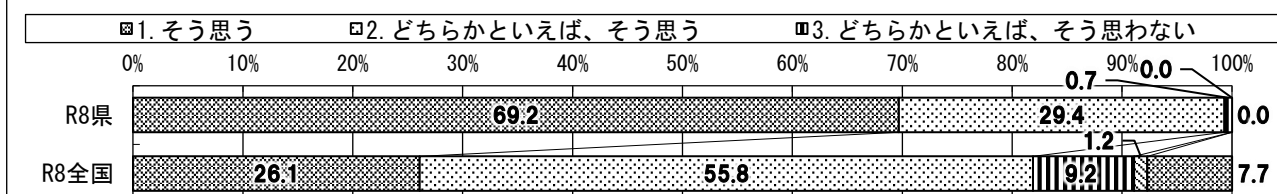
ウ 地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成への貢献

○ そう思うと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

【小学校】(80)コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献している



【中学校】(88)コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組は、学校教育活動の充実や学校課題の解決だけではなく、地域及び家庭の課題解決や地域活動の担い手育成に貢献している

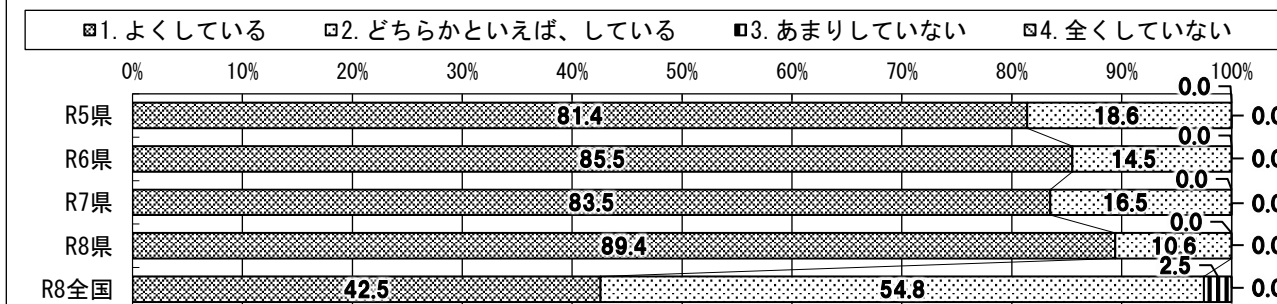


2 学校運営

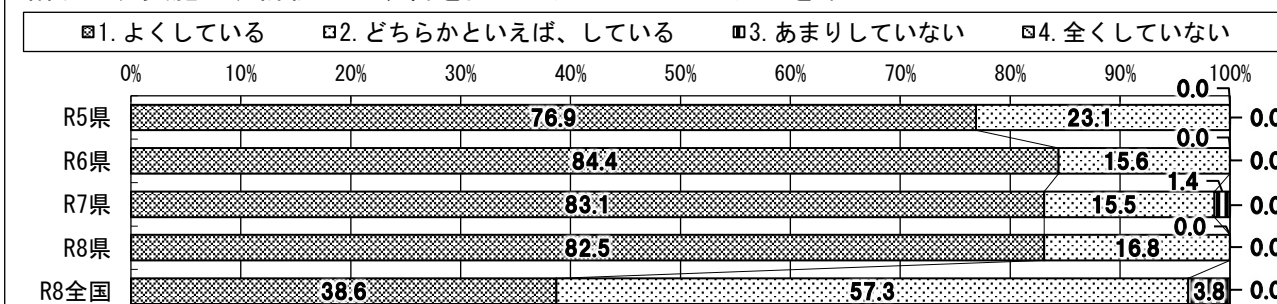
ア 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

○ よくしていると回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

【小学校】(17)児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



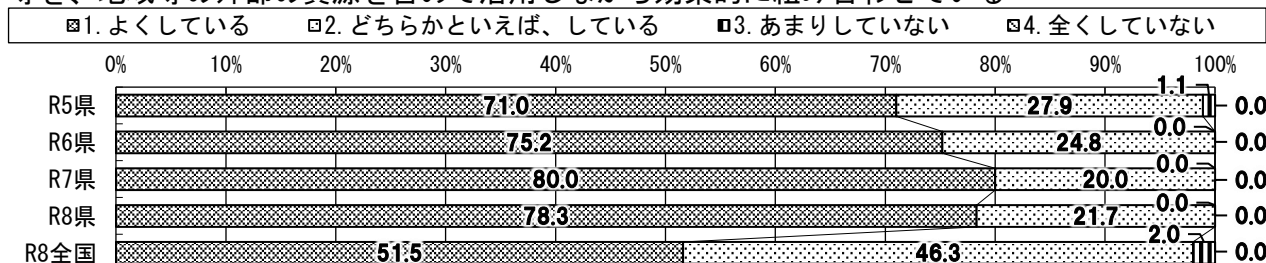
【中学校】(17)生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



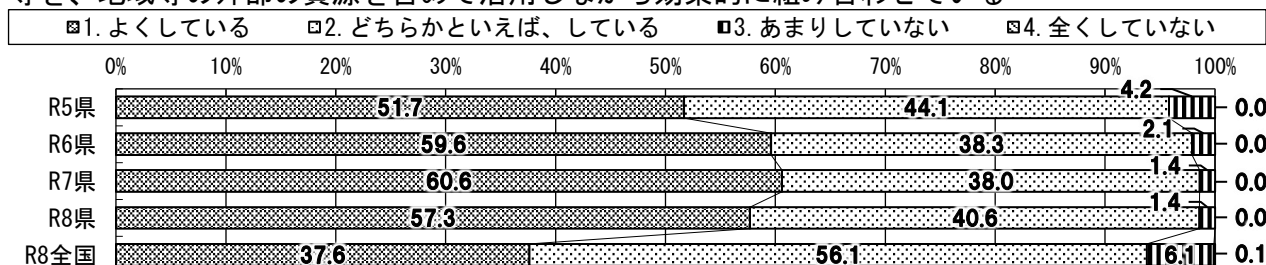
イ 教育活動に必要な人的・物的資源等の活用

- よくしていると回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- よくしていると回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて減少している。

【小学校】(18)指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている



【中学校】(18)指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている

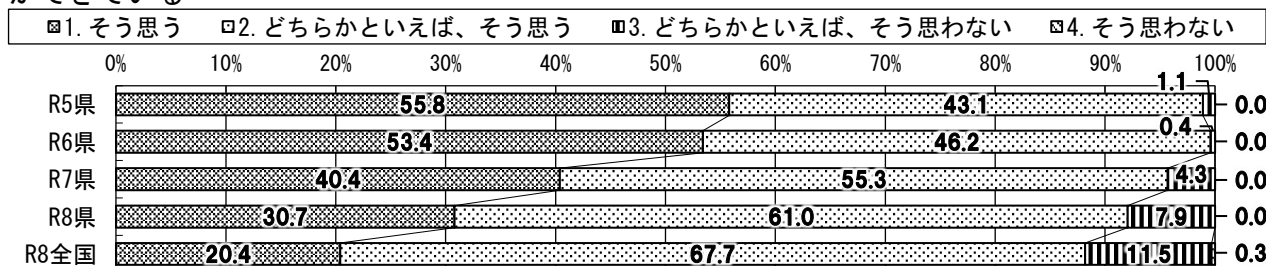


3 学習指導

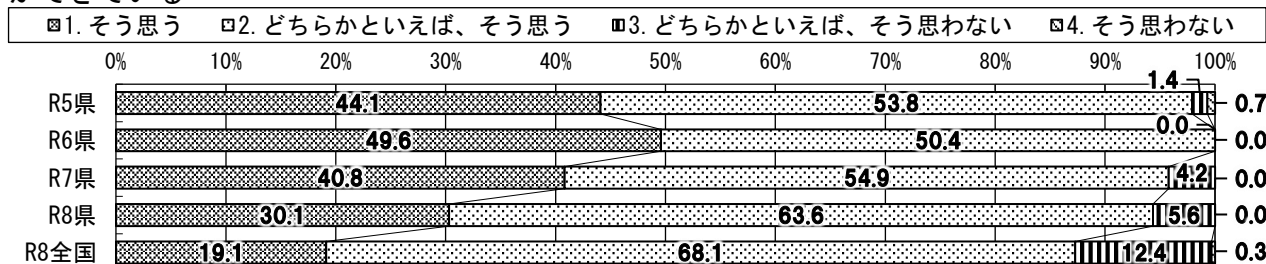
ア 授業において、学習課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる

- そう思うと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- そう思うと回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて減少している。

【小学校】(26)児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる



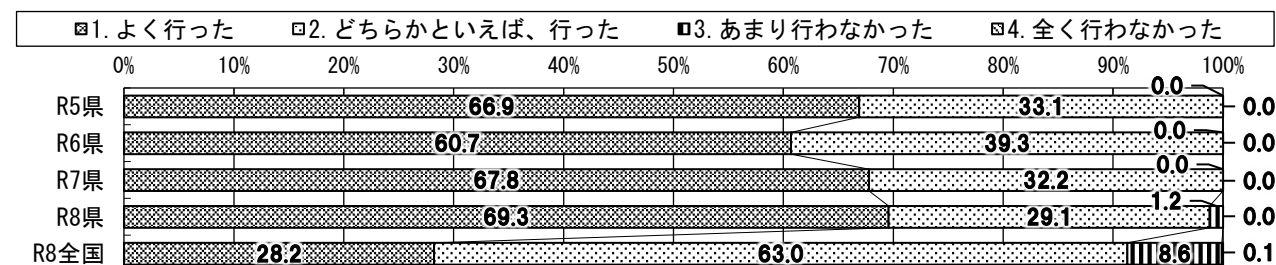
【中学校】(26)生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる



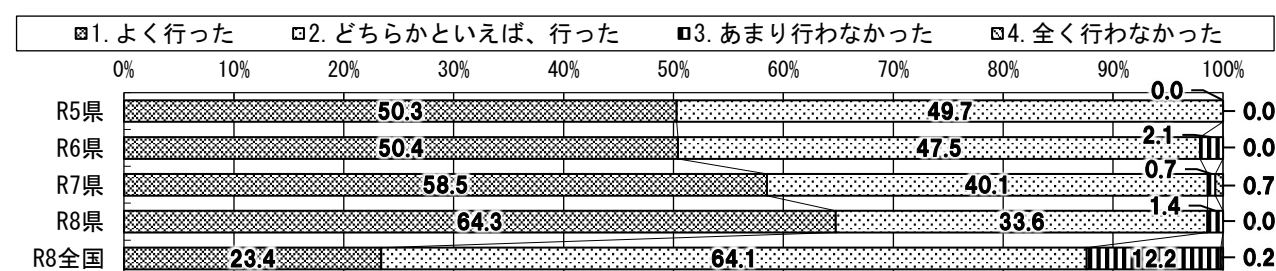
イ 学習指導における個に応じた学習課題の工夫

○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。

【小学校】(31)学習指導において、児童一人ひとりに応じて、学習課題や活動を工夫している



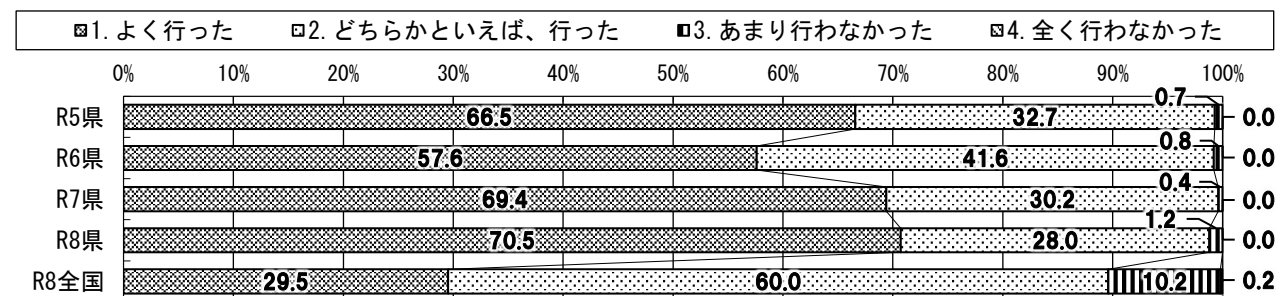
【中学校】(31)学習指導において、生徒一人ひとりに応じて、学習課題や活動を工夫している



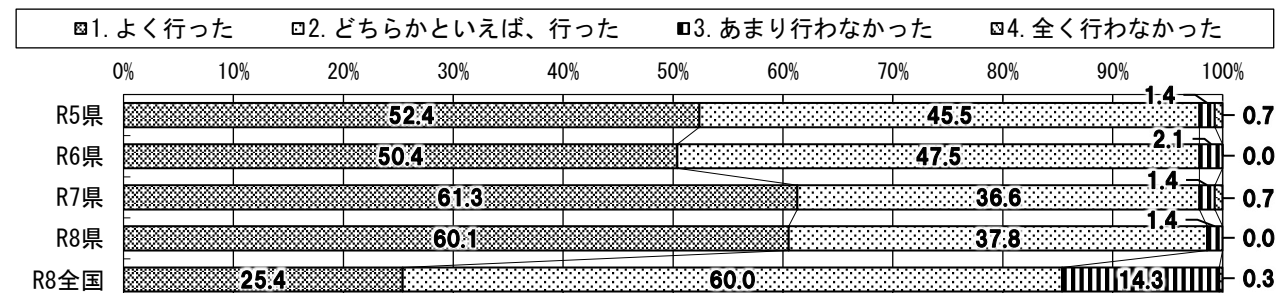
ウ 課題を設定し、話し合い、まとめ、表現する学習活動

○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

【小学校】(33)授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている



【中学校】(33)授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れている

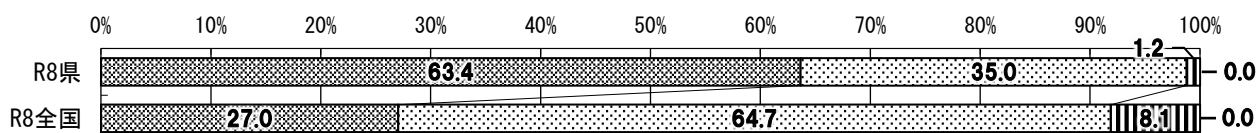


エ 既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動

○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

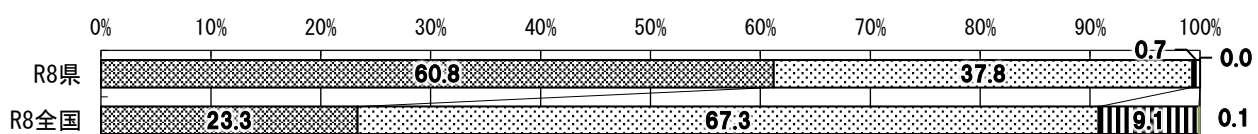
【小学校】(35)関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行った

□1. よく行った □2. どちらかといえば、行った □3. あまり行わなかった □4. 全く行わなかった



【中学校】(35)関連する既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける学習活動を行った

□1. よく行った □2. どちらかといえば、行った □3. あまり行わなかった □4. 全く行わなかった



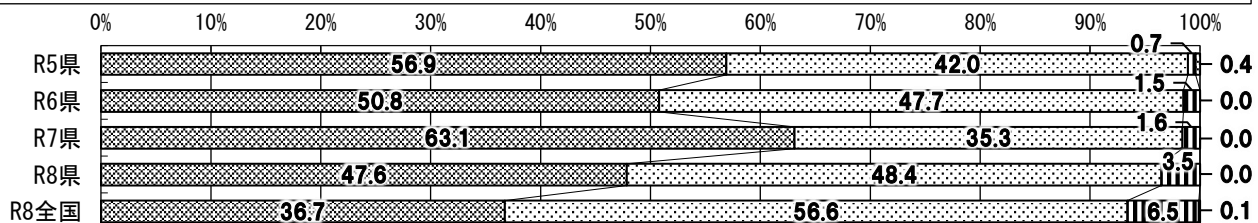
オ 総合的な学習の時間における、探究の過程を意識した指導

○ よくしていると回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

● よくしていると回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて減少している。

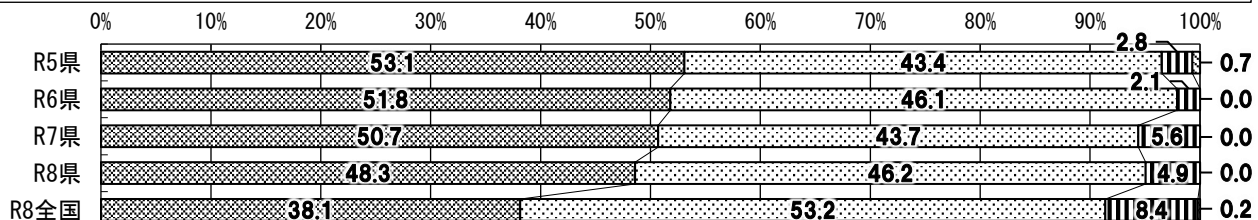
【小学校】(39)総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている

□1. よくしている □2. どちらかといえば、している □3. あまりしていない □4. 全くしていない



【中学校】(39)総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている

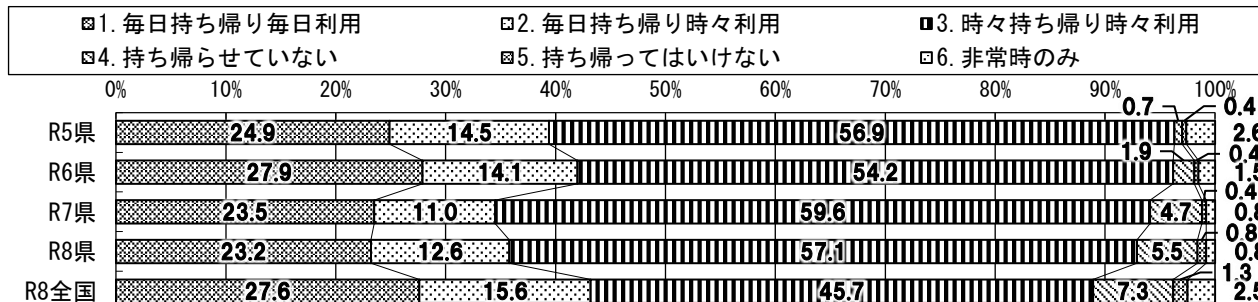
□1. よくしている □2. どちらかといえば、している □3. あまりしていない □4. 全くしていない



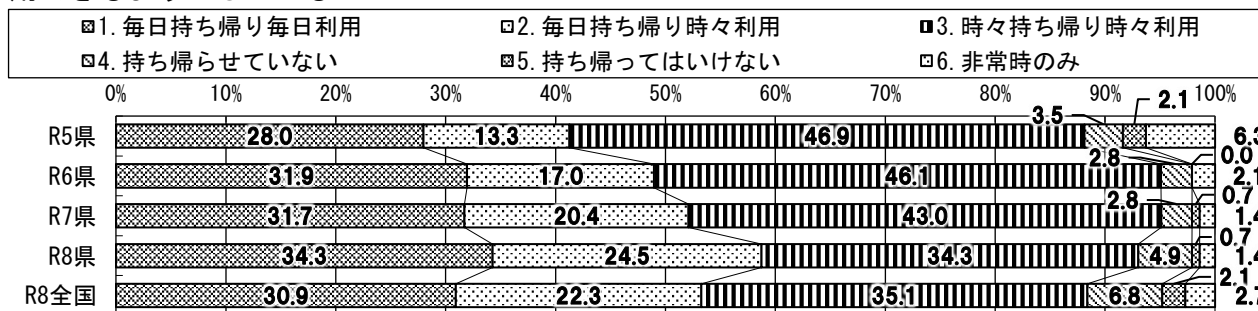
カ 1人1台端末の家庭での利用頻度

- 毎日持ち帰り利用すると回答した中学校の割合は、昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。
 ●毎日持ち帰り利用すると回答した小学校の割合は、昨年度に比べて減少し、全国平均を下回っている。

【小学校】(67)児童一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか



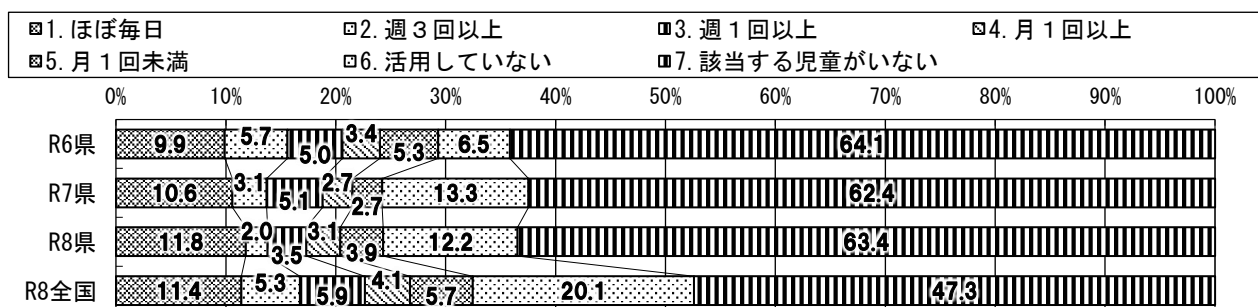
【中学校】(75)生徒一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしているか



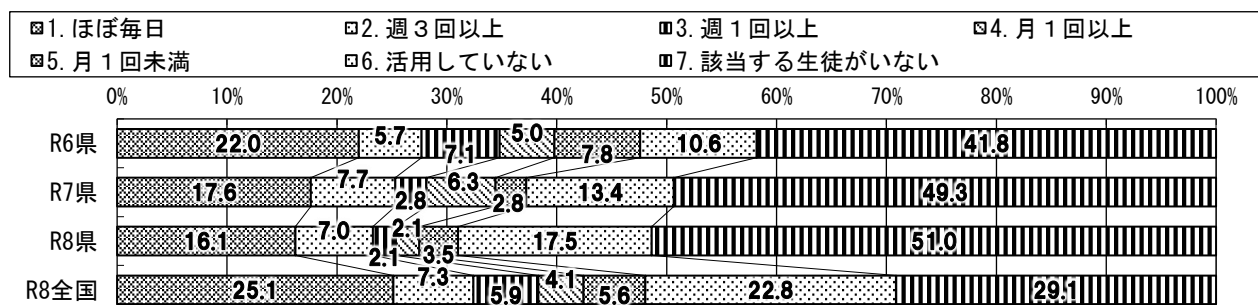
キ 不登校児童生徒に対する授業配信の取組

- ほぼ毎日行ったと回答した小学校の割合は、昨年度に比べて増加し、全国平均を上回っている。
 ● ほぼ毎日行ったと回答した中学校の割合は、昨年度に比べて減少し、全国平均を下回っている。

【小学校】(70_2)児童一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校児童に対する授業配信をどの程度行ったか



【中学校】(78_2)生徒一人ひとりに配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、希望する不登校生徒に対する授業配信をどの程度行ったか

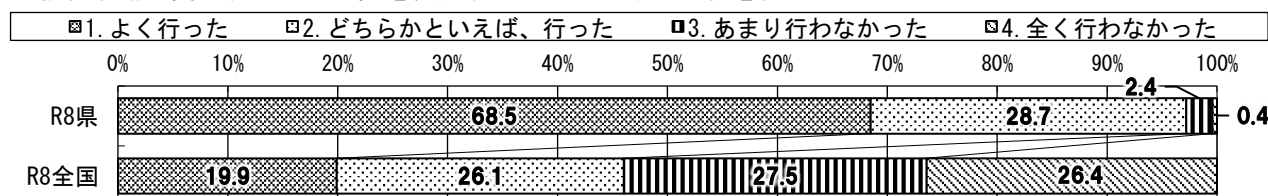


4 学校・家庭・地域との連携

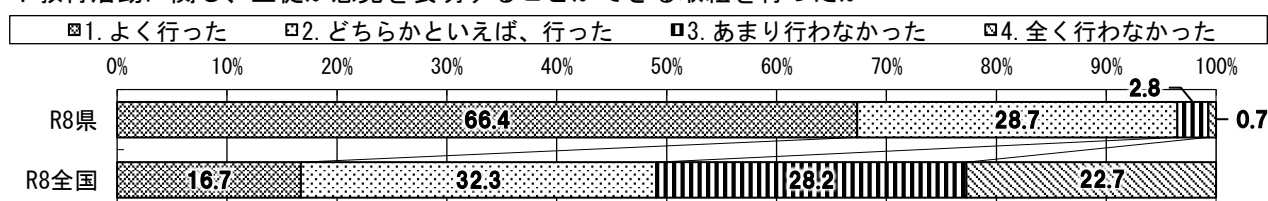
ア 学校の運営や教育活動に関し、児童生徒が意見を表明する取組

○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

【小学校】(78) コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、児童が意見を表明することが出来る取組を行ったか



【中学校】(86) コミュニティ・スクールの仕組みや地域学校協働活動等の取組を活用して、学校の運営や教育活動に関し、生徒が意見を表明することができる取組を行ったか

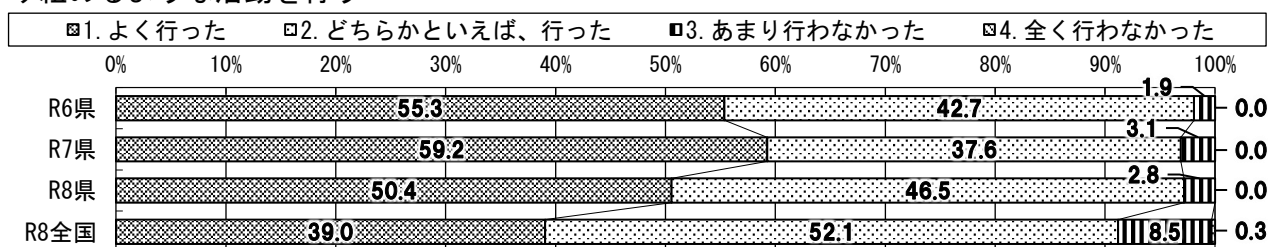


イ 家庭学習における児童生徒による学習内容や学び方の決定などの工夫

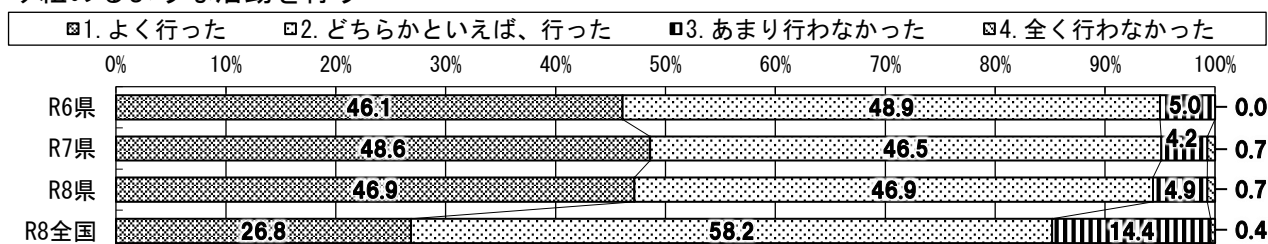
○ よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。

● よく行ったと回答した小・中学校の割合は、昨年度と比べて減少している。

【小学校】(82) 家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行う



【中学校】(90) 家庭学習について、生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行う

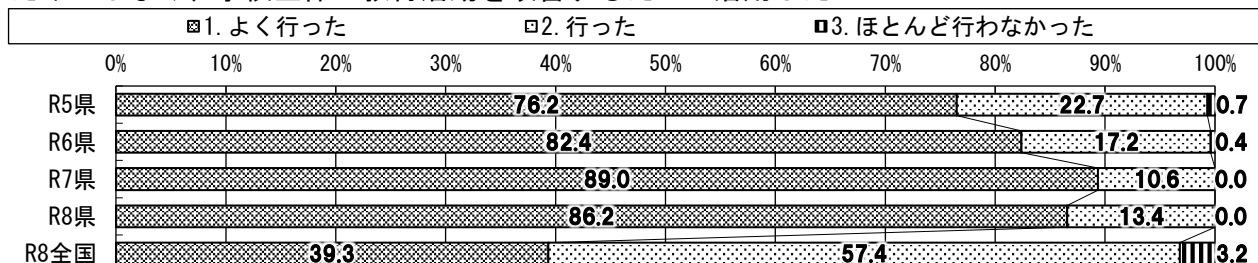


5 調査結果の活用

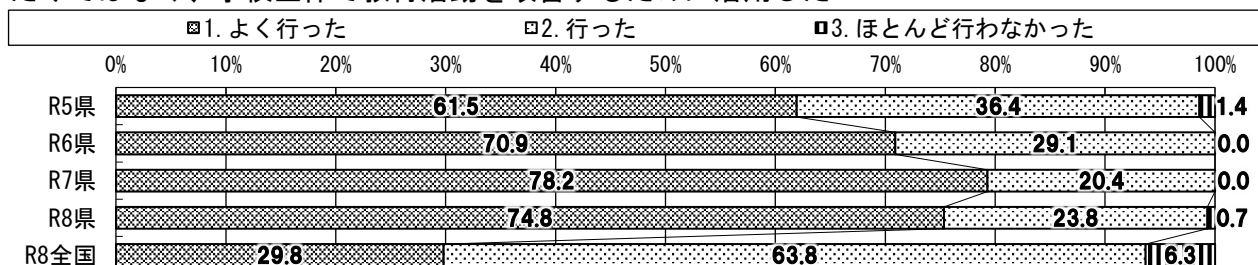
ア 全国学力・学習状況調査の結果の分析や活用

- よく行ったと回答した小・中学校の割合は、全国平均を上回っている。
- よく行ったと回答した小・中学校の割合は、昨年度に比べて減少している。

【小学校】(84) 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した



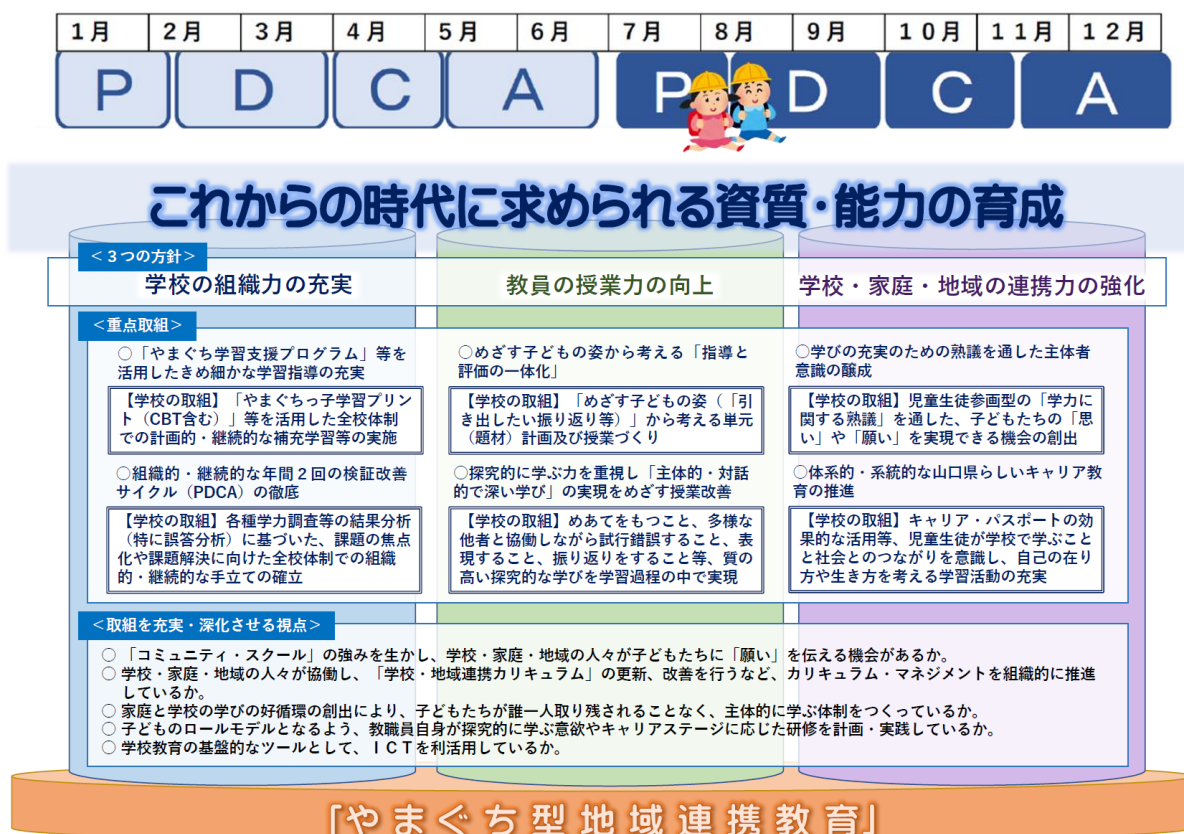
【中学校】(92) 前年度の全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した



4 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携し、児童生徒一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図るために、次のことに取り組む。

- 「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤とし、検証改善委員会からの客観的評価を生かして、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の3つの方針のもとで重点取組を推進するとともに、学校・家庭・地域が一体となって、検証改善サイクルを徹底する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動のさらなる充実を図り、誰一人取り残されることのない学びを保障するとともに、家庭と学校の学びの好循環を創出する。



《今回の結果を受けて特に重点を置いて取り組むこと》

- **学びの主体者としての意識の醸成**
 - ・ 学びに関する子どもたちの「思い」や「願い」を大人と共有
- **授業改善**
 - ・ 「めざす子どもの姿」を意識した単元計画・授業づくり
 - ・ 探究的な学びの過程の重視
- **全校体制での補充学習等**
 - ・ やまプリCBTの活用
- **児童生徒の学習改善や教員の指導改善**
 - ・ 誤答分析や、国の報告書、授業アイデア例等の活用

山口県高等学校教育改革実行計画 骨子案

令和 8 年度～令和 1 5 年度
(2026 年度～2033 年度)

令和 8 年（2026 年）8 月
山口県教育委員会

第1章 本計画について

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 計画策定までの経緯

<記載の方向性>

- 本計画は、国が示した「高等学校教育改革基本方針（グランドデザイン）」を背景に、「第3期県立高校将来構想」に示した基本方針を実行計画として具体化するもの。
- 国の財政支援等を活用しながら、計画に位置付けた施策を段階的に推進することを明記。
- 計画期間は、第3期県立高校将来構想との整合を図り、令和8年度から令和15年度まで。

第2章 山口県における高校教育の現状と課題

- 1 高校教育を取り巻く社会的な状況
- 2 本県における高校教育の現状と課題

<記載の方向性>

- 人口減少、産業構造の変化、デジタル化の進展、生徒の多様化など、本県の高校教育を取り巻く状況を整理。
- 山口県教育振興基本計画、やまぐち未来維新プラン等に基づき人づくりを行ってきたことを記載。
- 県立高校再編整備計画により、学校・学科の再編整備を行ってきたこと、「やまぐち型社会連携教育」による地域との連携・協働体制を推進してきたことなどにより、県立高校の特色化・魅力化を図ってきたことを記載。
- 県立高校の小規模化、普通教育・専門教育の魅力化、地域における学びの確保、多様な教育的ニーズへの対応などを主な課題として記載。

第3章 高校改革の基本的な考え方と方向性

- 1 改革の基本的な考え方
- 2 方向性（2040年に向けた高校の姿）

<記載の方向性>

- 第3期県立高校将来構想及び改革先導拠点の取組を踏まえ、生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、地域や社会の未来を支える高校教育をめざす方向性を記載。
- 地域・大学・産業界等との連携、文理横断的な学び、地理的条件に左右されない学

び、多様な学習ニーズへの対応を基本的な方向性として整理。

- 次期学習指導要領（高校：令和14年度以降実施）、やまぐち未来躍進プラン等を踏まえて記載。
- 対象は、高校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部を基本とすることを記載。
- 県立以外の公立高校についても普及の対象とし、設置者の判断により改革に取り組むことを記載。

第4章 高校改革の実現に向けて中核となる施策

- 1 専門高校の機能強化・高度化
- 2 普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化
- 3 地理的アクセス・多様な学びの確保
- 4 関連する取組
 - ・改革先導拠点の取組
 - ・学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援

<記載の方向性>

- 改革先導拠点で実施する、専門高校の機能強化、普通科改革、地理的アクセス・多様な学びの確保について、全県的な改革として位置付け。
- 多様な学びの確保においては、高等学校及び特別支援学校高等部における特別支援教育の充実・強化や、交流及び共同学習の推進についても記載。
- 関連する取組には、改革先導拠点の内容を踏まえ、学校と地域が連携した学力向上・学習支援等（例：公設塾や放課後の探究活動）を記載。
- これらの取組の基盤として、次期学習指導要領に向けた論点整理に記載された内容（情報活用能力の抜本的向上、質の高い探究的な学びの実現等）を記載。
- 全ての高校等がいずれかの取組を実施できるように記載。
- これらの取組を実現するために必要となる施設・設備整備についても記載。

第5章 その他の具体的施策

- 1 学校運営の改善
- 2 教育環境の整備・教師を取り巻く環境整備
 - (1) 学校の配置・規模の適正化
 - (2) 学校施設の整備方針
 - (3) 教師を取り巻く環境整備（指導・運営体制の充実、学校における働き方改革）
 - (4) 教員研修・人事配置
- 3 地域・大学・産業界等との連携
- 4 小・中学校との連携
- 5 高校入学者選抜の改善
- 6 生徒・保護者・県民への周知

<記載の方向性>

- 校長のリーダーシップの下で行われる取組等のほか、教育課程の工夫により学校に「余白」を創出することなどについても記載。
- 再編整備の基本方針や働き方改革など、既存の方針や計画との整合を図りながら整理。
- 新たに地域連携教育プラットフォームを構築するなど、企業・大学等との連携・協働の更なる推進を図ることを記載。
- 小・中・高のカリキュラムの接続、高校の教員や生徒が積極的に小・中学校で出前授業を実施する事などによる「あこがれの連鎖」の創出や専門高校等の魅力発信等の取組を記載。
- 多様な選抜方法の拡充について記載。
- 生徒・保護者や地域住民等の理解や協力を得るため、高校改革の取組について、リスクやSNS等を活用し、広く周知していくことを記載。

第6章 計画の推進

- 1 進捗の管理と評価
- 2 推進体制
- 3 数値目標
- 4 改革の工程表

<記載の方向性>

- 県の総合計画や教育委員会の点検・評価等と連動しながら、進捗管理と評価を行う仕組みとして、総合教育会議や知事部局の部長級を構成員とした会議を設定。
- 数値目標は改革先導拠点における目標設定を踏まえて整理。
- 工程表については、年度単位で記載し、今後の再編統合・学科改編や中間取りまとめ等について記載。